

解体されゆくアントニン・レーモンド建築 旧体育館の話

オノマリコ

登場人物

- 息吹 女子学生 (英米文学部)
- 敬虔 女子学生 (英米文学部)
- 奔放 女子学生 (日本文学部)
- 哲学 女子学生 (哲学部)
- 癩癩 女子学生 (文科一類)
- 沈黙 女子学生 (英米文学部)
- 平穩 女子学生 (英米文学部)
- 鮎玉 女子学生 (英米文学部)
- 〇〇 女子学生 (史学部)

#1

美しい場所。

音楽。

九人の女子学生たちがいる。

彼女たちは骨董品のように眠っている。

やがて一人、〇〇が目を覚ます。

もしくは、訪れる。

〇〇 息吹

息吹、目を覚ます。

息吹 敬虔

敬虔、目を覚ます。

敬虔 奔放

奔放、目を覚ます。

奔放 哲学

哲学、目を覚ます。

哲学 癩癩

癩癩、目を覚ます。

癩癩 沈黙

沈黙、目を覚ます。

沈黙 平穩

平穩、目を覚ます。

平穩 鮎玉

鮎玉、目を覚ます。

鮎玉 (息吹にむかって) 息吹

息吹 (敬虔にむかつて) 敬虔
(奔放にむかつて) 奔放
奔放 (哲学にむかつて) 哲学
哲学 (癩癩にむかつて) 癩癩
癩癩 (沈黙にむかつて) 沈黙
沈黙 (平穩にむかつて) 平穩
平穩 (飴玉にむかつて) 飴玉！

女子学生たち、笑いあう。

敬虔・哲学 校舎を見てここに決めました。ここで勉強したいと思いました。勉強を。
奔放 美しかった。正門をくぐるとこう芝生が広がっていて、

沈黙・平穩 その周りにぐるりと校舎が、左右対称に。

〇〇 シンメトリーに。

息吹 ビルディングみたいな、他の学校とはちがっていました。

癩癩 お金がないだけかも。

飴玉 かわいい学校。

哲学 ちがっていました。

息吹 門をくぐると、芝生が広がっていて、

敬虔 すぐ右に教会。

奔放 左は事務局。

哲学 (右、教会奥) 一号館、東館、小教室。

癩癩 (正面、芝生奥) 一号館、講堂、大教室。

沈黙 (左、事務局奥) 三号館、西館、小教室。

平穩 芝生には池があって、金魚みたいなものが泳いでいました。

飴玉 よく猫が来ました。ふとちよの、ぶすな猫。きつと金魚を食べていました。

〇〇 ここまでが門をくぐって目に見える場所。

哲学 ここで勉強したい

平穩、哲学に話しかける。

平穩 真面目だね。あなた

哲学 はい？

平穩 勉強する気でここに来たんだ

哲学 はい

平穩 そんな人めったにいないよ

哲学 ……じゃあ何をしにここへ来るんですか？

学生たち。

息吹 三号館の奥に体育館がありました。旧体育館、ちいさな体育館でした。

敬虔 その隣に新体育館がありました。バレーボールやバスケットボールのサークル

は主にこちらを利用していました。

奔放 社交ダンスやバレエ、ジャズなどのダンス系のサークルは旧体育館を使ってい

ました。

哲学 小さな、きれいな、建物でした。

癩癩 古びた、二階建ての建物でした。

沈黙 旧体育館のさらに奥、図書館がありました。

平穩 その向こう、学生寮がありました。

飴玉 そのちよつと手前、カフェテリアと購買がありました。

〇〇 それらが門をくぐっただけでは目に見えない場所。

息吹、〇〇に話しかける。

息吹 あなた

〇〇 (驚いて息吹を見る)

息吹 何学部？

〇〇 ……時間

息吹 ん？

〇〇 時間を勉強する、学部

息吹 史学部？ぴったり

〇〇 そう？

息吹 いいよね、歴史。ちよつと悩んだ。結局英文だけだね、募集多かつたから

〇〇 名前は

息吹 ん？

〇〇 あなた、名前

息吹 ああ。息吹

〇〇 ……息吹

息吹 そう。息吹

〇〇 いい名前

息吹 ありがとう

〇〇 どういたしました

息吹 あなたは？

〇〇 ……

息吹 名前

〇〇 また会えるかわからないから

息吹 え？

〇〇 人は人の顔を忘れるし、声も忘れるし。わたしとあなた、学部もちがうし、また会えたってわからないかもしれないから

〇〇、立ち去る。

入学式の日。各所で入学式の風景が演じられる。
奔放、敬虔、息吹に話しかける。

奔放 なあにやってんの？息吹

息吹 軟派して、振られた

敬虔 どんな子

息吹 変な子

奔放 変わった子？

息吹 変な子

奔放 それどうして軟派した？

息吹 だって変な子だよ？

敬虔 教室、行くよ

奔放 連れてってやって

敬虔 入学そうそう振られるなんて、かわいそうにね、息吹

教室。哲学、自己紹介をしている。

哲学 哲学です。名前が哲学。もう一度言います。名前が哲学。ちよつとすごい付

けられちゃったなああって思ってます

校内。鮎玉、走ってきて沈黙の前で止まる。

鮎玉 同じ学部の人だよ

沈黙 ……

鮎玉 (自分を指して) わかる？

沈黙 うなずく。

#2

息吹 ネガティブ

鮎玉 わたし、鮎玉

沈黙 (うなづく)

鮎玉 先生の話聞いてた？わたし寝ちゃった。ねえ、意味わかんないんだけどさ、シラバスってなに？

校内。痲癩、歩いている。

痲癩 ……

教室。哲学、自己紹介の続き。

哲学 この学校に来たのは、あの、四年間しつかり学べるような、そんな環境だっと思って、だからです。あの、なにを学ぶかはまた決めてないんですけど

痲癩 くだらない

哲学 一生に一度くらい、机にしがみついてなにかをするのもいいって、思ってた。わかんないですけど。いいって思って。とにかく、楽しみです。よろしくお願いします

パーラー。平穩と〇〇、話している。

平穩 今年も変わり映えしないねえ

〇〇 そう？

平穩 なんがあった？

〇〇 さあ

平穩 (寝転がって) まあいいよ、なんでもね

〇〇 少しは身体、動かしな

平穩 春は眠いんだよ

〇〇 あつという間に夏が来るよ

平穩 秋が来て、冬が来て、あつというまに春に戻るよ

〇〇 新入生がきたばかりなのに

平穩 新しいものに期待はしない。古いものに囲まれてればいい。そういうタイプなんだ

〇〇 忘れられちゃうよ

平穩 パンと牛乳よりご飯とお味噌汁

〇〇 なにそれ

平穩 朝ごはん

〇〇 忘れられちゃうよ

平穩 だって平穩だからね。わたしは平穩だから

鐘の音。

〇〇 ……存在と時間

平穩 なあに、それ

〇〇 わたしの、朝ごはん

鐘の音が続く。

#3

四月初め。学生寮。「パーラー」と呼ばれる学生たちの談話室。

敬虔と平穩と鮎玉がいる。

敬虔 学生寮は一人一部屋。小さな部屋です。その他にパーラーと呼ばれる学生たちのフリースペースがありました。新聞が三紙、英字新聞が一紙、あつて、あとテレビが一台と、暖炉！火は入らないですけど。そこにみんな集まって、仲い

い子たちはおしやべりをしたり

校外。哲学、語りだす。

哲学 大学へは二時間かかります。

沈黙、パーラーに新聞を読みに来る。

敬虔 仲良くない子は挨拶だけしたり、そういうような場所でした。

沈黙、挨拶をして、少し離れた場所で新聞を読む。

鮎玉 やっぱサークルとか、やっといいたほうがいいですか

平穩 まあ、楽しみたいんなら

鮎玉 でも鮎玉、趣味とかあんまりなくて

平穩 毎日なにしてるのさ

鮎玉 お菓子、食べたり

平穩 あるよ。イベントごとにマドレーヌを焼くサークル

鮎玉 いやだあ。そんな地味なサークル

敬虔 キリスト教の研究会だよ。それ

平穩 おや

敬虔 入ったらいいじゃない、鮎玉

鮎玉 ……敬虔ちゃん、入るの

敬虔 まさか

哲学 二時間かかります。まずバスで駅まで行って十五分。

息吹、パーラーにやってくる

息吹 こんにちはー

鮎玉 ああ

息吹 敬虔、授業決めた？

敬虔 だいたい

息吹 一週間で決めるとか無理じゃない

平穩 楽なの教えようか

息吹 楽、かつ楽しいので

鮎玉 わたしも

敬虔 じゃあね

息吹 あ、体育と音楽、とった？

敬虔 宗教学はとった？

息吹 とうるか？

敬虔 冗談

敬虔、立ち去る。

哲学 電車で大きい駅まで三十分、乗り換えて各駅停車で六十分。

平穩 クリスチャン？彼女

鮎玉 たぶん。うーん？一限のあとって教会、ミサやってるでしょー。あれによく出

てるって

息吹 毎日出てる

鮎玉 毎日出てるって

奔放 おーっす

奔放やってくる。

哲学 大体この間は寝ています。(寝る)

奔放 新歓いかない？女の子は飲み放題

息吹 パス

奔放 なんでよ

息吹 サークル見学！

平穩 わたしもパス

奔放 なんで

平穩 女は飲み放題ってことは――

奔放 女の先輩だっているよ？

平穩 パス

息吹 (平穩に) ねえ、授業なにかおすすめる？

奔放 ええー

平穩 近代女性学

息吹 ちよつと勇気いるなあ

平穩 古典英米文学史。児童文学入門。先生がかっこいいのは英米文学特殊講義Ⅰの
グレアム・グリーン研究

息吹 (メモ) 英米文学特殊講義Ⅰ。ね。体育3コマとつちやった

鮎玉 どこですかー、新歓

奔放 鮎玉ちゃん！渋谷

鮎玉 じゃなくて、学校です。向こうの

奔放 抜け目ないなあ、鮎玉ちゃん

鮎玉 つきあいますよ。奔放さん

奔放 呼び捨てでいいよ

鮎玉 奔放

奔放 鮎玉

奔放、鮎玉、笑う。

哲学 (起きこ) 最寄り駅から学校へ、歩いて十五分。ここままで、いつもちよつと疲
れています。

奔放・鮎玉 学生寮は一人一部屋。小さな部屋です。扉を開けると、まず台所。左に

ユニットバス。昔は食堂とお風呂トイレは共同だったらしいのですが、今は部

屋ごとについてます。その分、部屋は狭いです。作り付けの机、棚、ベッド。

この部屋で私たちは勉強をします。いいえ、勉強をしなくてもいいんです。た

だ扉を閉めて、一人になります。この部屋でわたしたちは自由です。この部屋

でわたしたちは守られています。

○○、哲学に話しかける。

○○ 哲学

哲学、○○を見る。

○○ これからの日々が楽しみね、哲学

哲学 ええ

○○ 身体が風船みたいにぶうって膨れて、そのまま破裂しそうに楽しみね、哲学

哲学 (躊躇しつつ) ええ

○○ おそらくあなたは何もできない

哲学 ……え？

○○ あんたは無力だ。これから四年の月日をかけて、あんたはそれを思い知る

哲学 あなた、なんなの？

○○ ……

哲学 新人生じゃ、ないんですか

○ ○ 新入生だよ

哲學 ……

○ ○ これからよろしくね、哲學

#4

五月。パーラー。

息吹 奔放 平穩 鮎玉 すこし離れて沈黙。

奔放 ミスコン？

鮎玉 はいっ。実行委員、入りましたあ

息吹 すごい

鮎玉 男ばつからしいですよ、学祭。ナンパ超されるって

奔放 一年生でも出られるの

鮎玉 奔放さん、出る？

奔放 まさか。あと呼び捨てでいいって、鮎玉

息吹 どういう人が立候補するんだろ

奔放 女子アナ目指してる子とか？

鮎玉 スッチーとか

息吹 おお

平穩 CA

奔放 まだ人気？スッチー

平穩 CA

鮎玉 候補者少ないんですよ。いい人いませんかねえ？

息吹 きれいな子かあ

奔放 推薦でもいいの

鮎玉 います？

奔放 敬虔

息吹 出るかなあ

平穩 だれだっけ

鮎玉 ミサに出る子

奔放 出しちゃおうよ。いないよ、あんなず・女子大生

鮎玉 やっちゃいまじょうか

息吹 怒られそう

鮎玉 でも、もお、ほんとに誰もいなくて。わたしが登録してるくらいなんですよー

息吹 鮎玉ちゃんはむしろいいんじゃない？

鮎玉 ええー

平穩 絶対思ってない

奔放 うん。いけるって思ってる

息吹 応援するよお

鮎玉 ちがいますよお。ないですってほんとに。恥のかき捨てですよ

息吹、語る。

息吹 学生寮は一人一部屋、小さな部屋です。学校の敷地には100人くらい住める

寮が3つあって、ここはそのうちのひとつ、北寮（ほくりょう）です。住んでる

学生は北海道から沖縄まで様々ですが、一年生が多いです。はじめだけは学生

寮で、そのあと近くのアパートやマンションに移る人がけっこう多いんだそう

です。ここは門限が11時半、門限破ると反省文、男の子を連れ込めない、ま

あ、狭い、同世代の女の子がたくさんいるから人目を気にする人はうかうか部

屋から出られない、部屋を一步出ると廊下やパーラーでおしゃべりしてる人た

ちがいるから友達がいないと寂しくてやっていけない、そういう環境ですから。

#5

女子学生たち 行ってきました！

学生たちの登校風景。

哲学 ここで勉強したい！

〇〇 門をくぐっただけでは目に見えない場所。

館玉 カフェテリアと購買がありました。

沈黙 図書館がありました。

息吹 新体育館がありました。バレーボールやバスケットボールのサークルが朝練をしています。

奔放 グラウンドではラクロスサークルが。

敬虔 旧体育館がありました。朝練は、社交ダンス部。

平穩 ちいさな体育館でした。

哲学 きれいな建物でした。

癩癩 (うれしそうに) くだらない

〇〇 門をくぐって目に見える場所

館玉 ふとちよの、ぶすな猫

平穩 芝生と池と、金魚みたいなもの。

沈黙 三号館、西館、小教室。

奔放 二号館、講堂、大教室。

哲学 一号館、東館、小教室。

敬虔 事務局、教会。

息吹 かわいい学校。

館玉 お金がないだけかも。

〇〇 他の学校とは、

息吹 ちがってるいるかも。

哲学 シンメトリーで、

沈黙 美しかった。

敬虔 ここで勉強したい。

奔放 これ以上勉強なんてしたくない。

鐘の音。学生たち、教室へと収納されていく。
癩癩一人だけが校舎に入らずに立ち尽くしている。

#6

6月。体育館。学校の中央に位置する体育館。
癩癩、体育館の真ん中で崩れ、眠る。

奔放 何年生？

奔放、煙草をふかしながら現れる。

奔放 さぼり？ ねえ、先輩？ 何学部？

癩癩 ……

奔放 穴場だよ、この時間。だいたい体育入っちゃって

癩癩 ……

奔放 (煙草を吸いつつ) 喫煙スペース少なすぎだよ

癩癩 ……

奔放 しかもみんな外。ふざけんなつーの。人に見られながら吸う煙草がうまいか

つて。ねえ？ わたしたちはまだいいけどさあ。先生たちどうすんのよねえ。昔

は煙草ふかしながら授業してたつていうじゃん。えらいちがい——

癩癩 汚い

奔放 ……

癩癩 あと文科二類

奔放 はあ？

癩癩 だから、汚い

奔放 ……

癩癩 あなたのせいで空気が汚い

奔放 ……なにしてんの

癩癩 マスターベーション

奔放 ……

癩癩 冗談

奔放 まあ、そっだよ

奔放、タバコの火を消す。

癩癩 じゃあ、出て行って

奔放 はあ？

癩癩 一人にして

奔放 あんた一人のためにある場所じゃないんですけど

癩癩 あなたのサポータージユのためにある場所でもない。ねえ、もう来ないで

奔放 あのねえ

癩癩 来ないで二度と入らないで私の邪魔をしないであなたは汚くて臭くて愚かな

んだから

奔放 ……

癩癩 怒らないの怒っているのに言葉が出ないのボキャブラリーが貧困すぎて言い

返したくても言葉がないの

奔放 ……

癩癩 犬に噛まれたとでも思っただけで我慢をするの

奔放 あんた、なんなの

癩癩 ただの学生

奔放 友達いないでしょ

癩癩 山ができるよ

奔放 へえ。この世にはまだあたしが見たこともないような優しい人がたくさんいるのね

奔放、去る。

癩癩 15点

癩癩、昼寝を続ける。

#7

6月。教室。

授業後。敬虔、哲学、平穩。少し離れて沈黙。

哲学 みんな、ぜんぜん勉強してない

敬虔 そうかな

哲学 そうじゃない？みんな。授業中だって寝てばかり

平穩 授業に出るだけまだだよ。他の学校なんか――

哲学 あなた、特にひどい。寝てばかり

平穩 おや

沈黙 ……

敬虔 哲学

哲学 何をしにここへ来てるんだろ

平穩 入学式の日、言ったじゃないか。勉強したい奴なんて滅多にこないよ

哲学 わたしはしたい

平穩 変わってる

敬虔 いいと思うよ

平穩 生まれる時代を間違えたね。敬虔に哲学。あんたたち二人とも変わりもんだ

平穩、去る。

哲学 そんなに、変かな、わたし

敬虔 学部の授業、いまなに

哲学 プラトン読んでる。「ソクラテスの弁明」。クラス一人ずつ順番でレジユメつくって、発表して。でも半分くらいの人が、なんていうの？やっつけ仕事っぽくって——

敬虔 面白い？プラトン

哲学 え。うん

敬虔 読んでみようかな

哲学 (驚いて) うん

敬虔 おすすめってある？あまりよく知らないんだけど
哲学 貸すよ！「饗宴」とか「弁明」とか、「メノン」とか「クリトン」とか。待って。ロッカーにあるから。ちよつと待ってて。持ってくる

哲学、急いで去る。

飴玉、走っていて哲学にぶつかる。

飴玉 うわつとお

哲学 ごめんなさい！

飴玉 怪我不い？

哲学 無傷！

哲学、走り去る。

飴玉、敬虔に話しかける。

飴玉 (哲学の真似をして) 無傷！

敬虔 とつてたつて、宗教学

飴玉 クリスチャンじゃないもん

敬虔 わたしも

飴玉 またまたまたまた。…敬虔、ちゃん

敬虔 なに

飴玉 ミスコンってさ、どう思う

敬虔 出ればいいじゃない、飴玉

飴玉 いやいやいやいや。敬虔ちゃん、出ない？

敬虔 どうして

飴玉 美人、だから？

敬虔 もっといい人いるでしょう

飴玉 ミスコンっていうのはナンバーワンオブオオ色兼備を決めるのよ

敬虔 うん？

飴玉 雑誌とかにも載るの。学校の顔よ、顔。だからね、ここはひとつうちはほかとはちがうぞ、硬派だぞつてところをバーンと——

敬虔 学祭の日は息吹や奔放と千葉県の舞浜にあるつていう遊園地に行くの

飴玉 そうなの…

敬虔 ごめんね

飴玉 いいね

敬虔 飴玉も行く？

飴玉 いやいやいやいや。そーゆーわけにはいかないでしょー

沈黙、二人を見ている。

#8

7月。

息吹と〇〇。

息吹 あれ

〇〇 また会ったね

息吹 そうだよね、入学式の日の

〇〇 覚えてた、わたしのこと

息吹 もちろん

〇〇 覚えてた

息吹 どうですか？史学部は

〇〇 どう、学校は

息吹 ……楽しいけど

〇〇 楽しくないの

息吹 もっと楽しめるような気がする。まだわかんない

〇〇 もう4ヶ月経つのに

息吹 そんなに経ったつけ？

〇〇 もう夏だよ

息吹 そうだっけ

〇〇 もうすぐ夏休み

息吹 そっか

〇〇 レポートがたくさん出るよ

息吹、大量のレポート用紙を渡される。

息吹 このあと英語 テストだった

〇〇 そうだね、みんな大変そう。ほら

〇〇、学生を一人指す。

〇〇 あんなどこで寝てる

別の学生を指す。

〇〇 あの子、昨日もあの服着てた

別の学生を指す。

〇〇 あの子、お化粧やめた。先月まではがんばってたのに

息吹 よく見てるね

〇〇 本当は見られる方が好きだよ、わたし

息吹 (まじまじと見て) ほほう

〇〇 やめてよ

息吹 見てほしいって言った

〇〇 うるさい、こども

息吹 もう19ですー

〇〇 こども

息吹 なによ、くそばばあ

〇〇 くそばばあ？

息吹 あ。ごめん。買い物葉ってやつ？

〇〇 くそばばあ

息吹 ごめん

〇〇 なるほど。くそばばあ

息吹 なに納得してんの

〇〇 目がいいんだね、息吹は

息吹 いや。え。そうね

〇〇 息吹。夏休みが終わるよ

息吹 え

校内。敬虔と哲学。

敬虔 (本を渡す) はいこれ

哲学 つまらなかつた？

敬虔 おもしろかったよ、だいぶ

哲学 もう読んだの

敬虔 うん

哲学 全部――

敬虔 岩波ブルーバックとは相性がいいの

哲学 全部……？

敬虔 ギリシヤって本当にゲイ多かつたんだね

哲学 あ、うん

敬虔 おもしろかった。魂は輪廻なんだね。ギリシヤ。解放された魂はすべてのことを知っているのに、肉体にはいる瞬間にそれを忘れてしまう。だから時々、夢

の中では真実に出会うことがある

哲学 想起説

敬虔 あと死んだあとね。魂は失っていた真実を思い出す。おもしろかった。わたし

にとってはファンタジーだけど。いまは？何をやってるの？

哲学 ……最近は中期のテキストを読んでる。半年かけて「国家」を上下巻やろうかなって

敬虔 読み終わったら貸してね

校内。飴玉とそのあとを歩く沈黙。

飴玉 ……

沈黙 ……

飴玉 (振り向いて) ついて来てる？

息吹と〇〇。

〇〇 この二ヶ月、なにしてた？

息吹 田舎帰ってた。学校の近くの和菓子屋さんで羊羹買って、あと東京駅でお菓子

も買って。恥ずかしいんだけどね、うち帰ったらお母さんケーキ用意してた。食事豪華だったよ、お肉とかお刺身とか。でも一週間したら東京に行った

娘もただの人っていうか。ね。それまでと一緒に お皿も洗うし、掃除もするし

〇〇 どっか行ったりは

息吹 新潟行ってきた！高校のときの友だちと。敬虔や奔放も。知ってる？小学校か

ら一緒なんだけど、ここも一緒なわたしの友だち

〇〇 見たことあるかも

息吹 敬虔は頭がよくてね、奔放は性格がいいの

〇〇 ふうん

息吹 二人とも家には10日間くらいしか帰らなかったの

学生寮。敬虔と奔放。

敬虔 ごはん、食べに行くけど

奔放 お金ない

敬虔 そっか

奔放 服、買いきちやった

敬虔 日文ってどんな授業してるの

奔放 ……

敬虔 やっぱり古典？

奔放 知らないよ。授業出てないもん

敬虔 奔放

敬虔 お説教とかやめてね。お母さんじゃないんだから

奔放 ……あんたこそ。敬虔

〇〇 二人はずっと寮にいたの

息吹 どうだろうね

〇〇 男の子と一緒に

息吹 そうかもしれないね

〇〇 息吹の知らない友だちと一緒に

息吹 そうかもしれない

〇〇 つまらないね、息吹

息吹 にくつたらしい

校内。沈黙と飴玉。

沈黙 ……

飴玉 あなた、どっちに行くの。

〇〇 夏休みが終わるよ、息吹。10月になる。秋が始まる

息吹 いつものまにそんな時間が経つたの

〇〇 瞬きをしている間に。慣用句だよ

息吹 気がつかなかった

〇〇 夏が終わるよ、息吹。秋が来る。秋も過ぎ去って冬が来る

沈黙 一つの方向を指す。

〇〇 そしてまた春が来て、新入生が入ってくる。息吹 もう一度夏が来る。そして

また過ぎ去っていく。

飴玉、沈黙と違う方向を指す。

飴玉 私はこっちに行くから

〇〇 大学生の夏休みは長いね、二ヶ月つてもてあますね。旅行をしてアルバイトをして、レポートはもう終わった？

校内。哲学と敬虔。

哲学、敬虔から本を受け取る。

哲学 もう読んだの

敬虔 うん

哲学 すごいね

敬虔 読みこんでないから

哲学 対話篇つてき、眠くならない？

敬虔 なるなる。そしたら30分くらい眠ってまた読むの

哲学 すごいね

敬虔 哲学者っていいね、いろんなことを考えてる。目には見えないものを

哲学 ……もう、貸せるのいいかも。プラトンの後期はまだ手を出してなくて……

カントが気になっちゃって

敬虔 純粹理性批判実践理性批判道徳形而上学原論判断力批判？いい？

哲学 ……。また、はじめだから。……デカルト

敬虔 ん？

哲学 デカルトなら。あるから。読むといいよ。「コギト・エルゴ・スム」

敬虔 「考える、ゆえに我あり」

哲学 「方法序説」なら。高校生のときに読んだから

敬虔 借りようかな

哲学 ゆっくり読んで

敬虔 (聞いてない) あの本、薄いよね。たしか

息吹と〇〇。

息吹 終わった。7本もあった。図書館入り浸っちゃった。今年はレポートのせいで

遊びつくせなかった感じ——

〇〇 息吹、二年目の夏が終わるよ

二年生の夏が終わる。

体育館。体育の授業。息吹、敬虔、奔放。

息吹 あれ

奔放 なにやってんの、息吹

息吹 なんだっけ

敬虔 寝てた？

奔放 真昼間に

敬虔 この子ならありうる

息吹 ないよ！たぶん白昼夢

奔放 ほら、先生待つてるから

息吹 目は開けてた

奔放 一緒でしょ。ほら

三人、体育をする。

息吹 あそこ、好き

敬虔・奔放 え？

息吹 この二階の、手すりのとこ。出窓？

奔放 ベランダ？

敬虔 バルコニー……？

息吹 洋館くりぬいて、体育館にしたみたいだね、ここ

奔放 うん？（敬虔に目くばせ）

敬虔 うん。（笑って）何を見てたの

息吹 夢？

敬虔 うん

息吹 普通だよ。声に出すとつまらないんだけど、今日みたいに普通に過ぎる夏の日
の学校の夢

#9

二年生の10月。体育館。
癩癩、寝ている。哲学が訪れる。

哲学 ……あの

癩癩 ……

哲学 おじやまして、いいですか

癩癩 嫌

哲学 ……（居座る）

癩癩 ちよつと

哲学 ごめんなさい

癩癩 迷惑なんだけど

哲学 いま空き時間ですよ

癩癩 わたしが、迷惑

哲学 好きなんです、ここ

癩癩 うるさい

哲学 ごめんなさい

癩癩 ……チエコ・キュビズム建築

哲学 え？

癩癩 なんでもない

哲学 何学部？

癩癩 ……

哲学 あなた、少し変わった人

癩癩 うるさい

哲学 ごめんなさい

#10

11月。教室。奔放、煙草を吸っている。ゆっくりと、息を吐く。

奔放 (歌う) 命短し恋せよ乙女

息吹、声をかける。

息吹 (歌う) 紅き唇あせぬ間に

奔放 っていうの？

息吹 うん

奔放 命って短い？

息吹 人それぞれじゃない

奔放 ながいわ。毎日

息吹 いいじゃん、いろいろできて――

奔放 永遠みたいにながい

息吹、奔放の煙草を消す。

息吹 窓、あけるね

奔放 もう授業か

息吹 そうだよ。先生困っちゃうよ

奔放 吸える場所がないんだもん

息吹 謹慎とか退学とかかっこよすぎるよ

奔放 ごめん

息吹 わたしは平気さ

奔放 馬鹿になる

息吹 なに言ってるの

奔放 馬鹿になる。酒と煙草とセックスと

息吹 奔放、かっこいい

奔放 (自棄) セックス、ドラッグ、ロックンロール

息吹 セックスしかあつてない

息吹、笑う。奔放はしらけている。

息吹 かっこいいよ

奔放 嘘

息吹 本当

奔放 嘘

奔放、去りかける。

息吹 奔放、授業――

奔放 遊んでくれるって、彼氏

息吹 ……

奔放 そこまで好きじゃないんだけど

息吹 彼氏？

奔放 うん

息吹 ……奔放

奔放 なに。息吹

息吹 授業は3回まで休んで平気

奔放 うん

息吹 前期で3回。後期で3回。通年で、6回

奔放 うん

息吹 それ以上は休まないで

奔放 うん

息吹 本当に？

奔放 ありがとう、息吹

奔放、去る。

息吹の傍らには○○がいる。

息吹 高校からああんなんだ、あの子

○○ ふうん

息吹 奔放っていうより、やさぐれ

○○ ……

息吹 また会ったね

○○ (頷く)

息吹 授業は

○○ 次、パソコン。情報処理

息吹 わたしエアロビ

○○ エアロビ

息吹 エアロビクス。体育

○○ 体育、エアロビ？

息吹 民族舞踊もとってる。インドネシアの、なんかこんなの(踊る)

敬虔がやってくる。

敬虔 息吹

息吹 敬虔。ミサ、どうだった？

敬虔 普通、だけど(○○を見ている)

息吹 あ、友だち

○○ おお

敬虔 どうも

○○ 友だちです

敬虔 ……。(息吹に) 奔放は？話した？

息吹 さぼり

敬虔 あのパカ。男？

息吹 うーん

○○ 男です

敬虔 ……馬鹿

息吹 まだ大丈夫だよ

敬虔 男と授業とどっちが大切なんだろう

○○ そりゃ、男でしょう

敬虔 (眉をひそめる)

息吹 敬虔

敬虔 奔放は前からそうね

息吹 でもさ、いっぱいいっぱいのときに効くのは、授業よりも男だと思う

敬虔 それ、実体験？

息吹 (頷く)

○○ おお

敬虔 あの子、そんな切羽詰ってるの？

息吹 あ……

敬虔 どんな恋愛してんの

息吹 (小声で) そういうんじゃないと思うんだけど

敬虔 息吹、ジャージは？

息吹 あ(忘れた)

敬虔 待ってるから、取ってきな

息吹 うん……。じゃあ

○○ さようなら

息吹 またね

息吹、走り去る。

敬虔 行かないんですか

○○ 敬虔

敬虔 ええ

○○ 敬虔？

敬度 ええ

〇〇 神様を、信じてるの

敬度 ……いいえ

〇〇 へえ

敬度 コスプレです、こんなの。ミッション系の大学に通う敬度な女子学生のコスプレ

〇〇 へえ！

敬度 人の信仰に興味が？

〇〇 ない！でもあなた、毎日教会へ行くよね

敬度 (怪訝そう) ええ

〇〇 祈るよね

敬度 ええ

〇〇 それは、なんで

敬度 なんでわたしのこと知ってるの

〇〇 なんで

敬度 ……。キリスト教は好きなの

〇〇 ふうん

敬度 信じてないけど好きなの。それだけ

〇〇 ふうん

敬度 この世で一番資料が多いの。この世で一番出版されてるし、この世で一番研究されてるから

〇〇 ……

敬度 どこまで調べても、きつと読みつくせないで死んじゃう。だから好きなの

〇〇 そこに神様はいないんだ

敬度 ……そうね

〇〇 ふうん

敬度 わるい

〇〇 いや？…いや。(笑って) いいと思うよ。いいと思った、敬度
敬度 なに

〇〇 あなたきつとすごいことになるよ

敬度 ……

〇〇 これから二年、月日をかけて、あなたはそれを思い知る

敬度 ……あなた、だれ

〇〇 息吹の友だち

敬度 だから、だれ

〇〇 息吹に聞いて。あの子は見えるよ

#11

1月。体育館。哲学、癩癩にプリントを渡す。

癩癩 なんなの、それ

哲学 学校の改修工事反対、です

癩癩 なに、それ

哲学 話題になってるんです。ここ、壊されるから

癩癩 この学校が？

哲学、首を振る。

哲学 ここ。体育館が

癩癩 へえ

哲学 ショック？

癩癩 別に

哲学 わたしは、ショックでした

哲学、ため息。

癩癩 (笑って) へえ

哲字 うちの学校ってちゃんと建築家が設計してるんですよ、アントニン・レーモン
ドっていう

癩癩 ……

哲字 建物一連、全部その人なんです。いまの図書館とか、カフェテリアとか、新しい
建物は別ですけど

癩癩 あんたがやってんの、これ

哲字 いいえ！校門でプリントももらっただけで。あなた興味あるかなって

癩癩 へえ

哲字 署名はしましたけど

癩癩 名前くらいは書いてもいいかな。癩癩って

哲字 癩癩？

癩癩 でも建物は、いつか壊されるからね

哲字 二階、暖炉があるんですよ。火、入るかわからないけど。花鉢もあるの。お花
入ってるの見たことないけど

癩癩 ふうん

哲字 体育はつきりやって、絶対見られてない。もったいない

癩癩 「やれ娘、若き女子が断末魔の面、後の手本に写しておきたい。」

哲字 え？

癩癩 「苦痛を堪えてしばらく待て。」

哲字 歌舞伎？

癩癩 修善寺物語

哲字 ……

癩癩 昔ね、やったんだって。ここで。演劇。うちの祖母ね、ここの卒業生。いまで
もときどき台詞つぶやいてる。小道真係だったらしいのに。無駄に記憶力いい
から

哲字 お芝居？

癩癩 夜叉王とかいうお面作りのじーさんがね、もうどうしようもないスランプで。
でも自分の娘が死にそうになってね、その顔を見て、これを彫ればいいものが

できる、いい芸術ができるって喜ぶ。そういう話

「若き女子が断末魔の面、後の手本に写しておきたい。」ほら。見えない？

哲字 え

癩癩 ここにいた、昭和だか、大正だかの女たちの姿

敬虔 哲字

敬虔 敬虔が入ってくる。

敬虔 つぎ、体育なの。ミサが早く終わって

哲字 ……

敬虔 最近教会に来ないね

哲字 ……

敬虔 飽きた、キリスト教

哲字 そういうんじゃないけど

敬虔 じゃあどうして？

哲字 ……

敬虔 今日をよくいる先輩とわたしの二人しかいなかった。先生悲しそうだった。「わ
たしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。だからわ
たしは人をあなたの代わりにし、国民をあなたのいのちの代わりにするのだ。」
今日のお説教。イザヤ書第43章。私情入ってるよね

哲字 ……

敬虔 わたしが、嫌なの？

哲字 ちがうから。…ごめん。敬虔

哲字、体育館をあとにする。

敬虔 ……

癩癩 「恐れるな。わたしがあなたとともにいるからだ。わたしは東から、あなたの
子孫を来させ、西から、あなたを集める。」

敬虔 知ってるんですか

痲癩 「目があっても盲目の民、耳があっても耳しいた者たちを連れ出せ。わたし、

このわたしが、主であつて、わたしのほかに救い主はいない。」神様つて傲慢だよ

敬虔 「このわたしが、告げ、救い、聞かせたのだ。あなたがたのうちに、異なる神はなかった。だから、あなたがたはわたしの証人。——わたしは神だ。」

痲癩 「これから後もわたしは神だ。わたしの手から 救い出せる者はなく、わたしが事を行なえば、だれがそれをとどめることができよう。」

敬虔 「わたしは主、あなたがたの聖なる者、イスラエルの創造者、あなたがたの王である。」

痲癩 「先の事どもを思い出すな。昔の事どもを考えるな。」

敬虔 「見よ。わたしは新しい事をする。今、もうそれが起ころうとしている。あなたがたは、それを知らないのか。確かに、わたしは荒野に道を、荒地に川を設ける。」

敬虔と痲癩、共犯者のように笑う。

敬虔 哲学は、よくここに來るんですか

痲癩 そんな名前なの、あの子

敬虔 ええ。あなたは？

痲癩 痲癩

敬虔 痲癩？

痲癩 痲癩もちの痲癩

敬虔 人のこと言えない

痲癩 あんたも。敬虔？

敬虔 experienceじゃなく、pious

痲癩 わかるよ。見える

敬虔 あなた、こういう人（〇〇の外見）と知り合いじゃない？

痲癩 知らない

敬虔 ごめんなさい。似た感じがしたから

痲癩 ……

敬虔 ここにはよくいらつしやるんですか

痲癩 詮索しないで

敬虔 ごめんなさい。……ここは、たしかにちょっといいですよ

痲癩 ……

敬虔 光が射すでしょう。強くない。やわらかい。あたたかい。春でも冬でも。友だちが体育好きで、付き合つて結構授業とつてたんですよ。光がめぐるので。あの窓から入る光が。天井のちよつと斜めになつてる部分とか、梁とか、ベージュの壁とかにゆるく反射して、明るい。この光だけで大事に思われてるって見える

痲癩 ……見えるの？

敬虔 あ

痲癩 見える

敬虔 たとえ、です。そんな気がするだけ

痲癩 嘘

敬虔 嘘つて

痲癩 聴こえるの？

敬虔 え

痲癩 答えて

敬虔 どうしたんですか

痲癩 建築は見える。見えるのね。音楽は？

敬虔 何の話？

痲癩 答えて！彫刻は。絵画は。数学は文学は哲学は。あなたどれくらい見えてるの

敬虔 何の話

痲癩 ここは、いいよね。チェコ・キュビズム建築はもとより好きなんだけど。でもねそうじゃなくてもここはいい。外からは見えないようになってる。音はほとんど反響しない。ここから、友だちを同じ目線で応援できる。バルコニーなんてあつて乙女チック。それから光、光が入る。心がほぐれるようになってる。

昔の体育なんて恥ずかしかった女たちの心がね。知ってる？アントニン・レーモンドって第二次世界大戦中にアメリカに日本の情報を流してたんだよ。でもそんなことどうだっていいね。ここが考えられてる。大切に思われてる。わたしとあなたは同じものを見てる

#12

#11と同じく1月。パーラー。平穩と沈黙。

敬虔 ……

癩癩 答えて。嘘つかないで。答えてっ

敬虔 ……。考える前に、もうそこにいるの。音や、色や、形。それから人が

癩癩 うん

敬虔 たくさん過ぎ去っていった人間が見えるの。そう、聴こえるの。どこにいても。たくさん時間が見えるし、聴こえる。そんな気がするの。うじゃうじやと、幽霊みたいに。しじまのように

癩癩 すごい

敬虔 すごくない

癩癩 見えて、聴こえて、言葉にできる？

敬虔 ……

癩癩 答えて！

敬虔 できるよ！たぶん。たぶん……。悪い！？

癩癩 驚き、そして笑い出す。

癩癩 わたしの友だち

敬虔 え？

癩癩 わたしの友だち。はじめまして

癩癩 笑う。

癩癩 「あなたが水の中を過ぎるときも、わたしはあなたとともにおり、川を渡るときも、あなたは押し流されない。火の中を歩いても、あなたは焼かれず、炎はあなたに燃えつかない。」

平穩 いいねえ、青春ってやつは

沈黙 ……

平穩 そう思わないかい、あんた

沈黙 ……

平穩 少しはしゃべりなよ

沈黙 ……

平穩 のどに棘でも刺さってるのかい

飴玉がやってくる。飴玉、不機嫌

平穩 どうした、若者

飴玉 男に振られました

平穩 へえ

飴玉 傷つきました

平穩 あららら

飴玉 でもまあ飴玉ですからね、明日には復帰します

平穩 無理なさんな

飴玉 辛いことなんて一切ないのが飴玉ですから

平穩 泣いたんだろう

飴玉 「苦しい」も「悲しい」も甘やかされたものしか知らないのが飴玉ですから

沈黙 ……

飴玉 現実なんてケーキと紅茶ですから。それが朝ごはんですから。飴玉は

鮎玉、立ち上がる。

鮎玉　すぐに立ち直りますよ

鮎玉、鼻をかむ。

沈黙　鮎玉

鮎玉　……なに

沈黙　(上手く言葉が出ない)

鮎玉　なに!

沈黙　……書物と、インターネット

鮎玉　なにそれ

沈黙　わたしの朝ごはん

鮎玉　……なにそれ

沈黙　(注意深く言葉を選びながら) 本を、噛んで、インターネットで流し込むの。それが朝ごはん。ごめん。最高に、いけてない。でもわたし馬鹿だから、ここに入れたのは奇跡みたいなもんだから。がんばらないとみんなと一緒にいけないから。哲学のことも歴史のことも文学のことも社会のことも、外国語も、単位の楽な稼ぎ方も、学食ではなにを食べればいいのか、授業には何分前にいたらいいのか、どんな風に席に座ってればいいのか、明日どんな服を着ればいいのか、みんなとなにを話せばいいのか、なにがみんなは楽しいのか、わたし、わからない

鮎玉　……で?

沈黙　……

鮎玉　おしまい?

沈黙　(首を振って) だけど、……だから、わたしはみんなをすごいと思ってる、から……

鮎玉　……から?

平穩　苛々しなさんな

沈黙　鮎玉になりたい

鮎玉　……

沈黙　本とインターネットなんて下さい。下さい? ケーキを食べたい

鮎玉　なんで

平穩　……

鮎玉　なんでなんでなんで、わたし? みんなだつてもっと。息吹とか、敬虔ちゃんと
か――

沈黙　鮎玉は、かわいい

鮎玉、泣き出す。

#13

息吹　三年生になった。

奔放　三年生になんて簡単になれる。

敬虔　単位を一つ残らず落としている、そんな猛者でもない限りだれにでもなれる。

奔放　なれたね、学校。

敬虔　いいかげんね。

息吹　慣れないよ。

鮎玉　しゅーかつ、始まりますねえ。

奔放　実感ないですねえ。

平穩　このままずっと大学に居続けられそうですねえ。

奔放　幻想だけだね。

息吹　成長とか、してんのかなあ。

鮎玉　本は読んだね。

平穩　レポートも書いた。

敬虔　東京に詳しくなった。

鮎玉　ケーキ屋さん、詳しくなった!

哲学 ファーストフード、詳しくなった。

奔放 服屋さん、詳しくなった。

沈黙 美術館、詳しくなった。

全員 ビール、おいしくなった。

息吹 サブスクール通い始めた。

敬虔 そうなの？

息吹 公務員。

奔放 インテリア。

鮎玉 行政書士。

平穩 青山シナリオセンター。

哲学 ゲーティンステイテュート。

敬虔 アテネフランセ。

痲癩 舞台芸術総合学院。

〇〇 代々木アニメーション学院。

#14

三年生の春。

哲学 授業前にすみません。あの

教室。哲学、奔放にプリントを渡す。

奔放 なんです、これ

哲学 体育館の、あの旧体育館。旧体の解体反対を求めて、署名をお願いしてるんです

奔放 ……

哲学 もしよかったら、お名前お願いします。旧体の保存を求めています

奔放 地震きたらさ、あぶないんじゃないの。昔の建物だから

哲学 耐震構造に問題はないって。建築家の方に見てもらったら、そう言っていました
奔放 へえ

奔放、じろじろと哲学と署名用紙を見る。

奔放 どうしてこんなことするの

哲学 はい？

奔放 形あるものはいつかこわれるでしょう

哲学 (ひと呼吸) それを、物を壊す口実にするのは変じゃないですか

奔放 そっか

哲学 そうです

奔放 どうしてこんなことするの

哲学 また

奔放 歴史があるからって、守らなきゃいけないの？

哲学 ……

奔放 こういうのってわかんない。歴史がわたしになにしてくれるの

哲学 好きだけです

奔放 ……

哲学 あの建物が好きだけ。完全に私情です。好きだから守りたいんです。それだけ
奔放 ……

哲学 すてきな建物ですよ。一階には暖炉とか花鉢もあって

奔放 そう

哲学 よかったら、お願いします。環境学入門、わたし一番

奔放 ……うん

哲学、晴れ晴れとした顔で去る。
校内。息吹、○○。

息吹 わあ——————————

○○ なに吠えてるの

息吹 ああ

○○ 悪かったね、わたしで

息吹 奔放が寮から出て行った

○○ そう

息吹 敬虔も

○○ そう

息吹 わあ——————————

○○ 一人だね、息吹

息吹 友だちはいるよ。鮎玉もいるし平穩もいるし沈黙も

○○ わたし

息吹 あなたも、わあ——————————

パーラー。平穩、ストレッチをしている。

沈黙がやってくる。

沈黙 ……

平穩 なんだい

沈黙 ……

平穩 少しはしゃべれるようになったのかと思っただけ

沈黙 (首を振る)

平穩 はいはい

体育館。癩癩、敬虔、ストレッチをしている。

敬虔 哲学、来ないね

癩癩 もう来ないかもね

敬虔 ……

癩癩 そうしたら、敬虔ももう来ないか

敬虔 ……

癩癩 否定はできない

敬虔 でも他に行くところもないなあ

癩癩 わたしも

敬虔 ……

癩癩 話してて楽しい人なんていない

敬虔 そっか

癩癩、敬虔の手をとって二人組みでストレッチをはじめる。

パーラー。

平穩 いたたたたた

沈黙 ……

平穩 なまってるねえ、やっぱり

沈黙 ……

平穩 いや、もう年か

沈黙 …… 同い年

平穩 同じ学年ただけだよ。わたしはみんなより上

沈黙 わたしも一浪

平穩 …… 馬鹿

沈黙 (頷く)

平穩 本でも読んでな

沈黙 本を読み始める。本が難しいらしく、やがて船をこぐ。

癩癩 こんな風に体を動かしていたら、私たちの間に恋愛は生まれるのかなあ

敬虔 ……

癩癩 どう思う

敬虔 ……生まれると思う、から

癩癩 うん

敬虔 だから、やめよう

癩癩 (近づく) なに

敬虔 やめて

癩癩 (近づく) そっか

敬虔 やめよう

癩癩 やだ

敬虔 お願い

癩癩 ……

敬虔 お願い

癩癩 敬虔

敬虔 こわい

癩癩 敬虔

敬虔 こわいよ!

癩癩、敬虔を抱きしめる。

癩癩 敬虔のためにマックス・ウェーバーを読んだよ

敬虔 癩癩、離して

癩癩 プロテインも読んだ。敬虔は哲学が好きなんだね。うん。哲学はなかなか楽しいね

敬虔 癩癩

癩癩 でも癩癩はもっと楽しい。敬虔。わたし入学式の日からね、隣の女の子がしつこく話しかけてくるもんだから、恥ずかしいんだけどね、首を絞めちゃったの

敬虔 え

癩癩 ついかつとしてね

敬虔 ……

癩癩 その後ね、学食ででっかい声で話してた男に牛乳ぶちまけちゃった。朝(ほん

はね、牛乳なのいつも。サンドイッチと牛乳。でもわたし、敬虔の首は絞めな

いから。もしカッとなっても我慢するから。短気なんだよね

敬虔 癩癩。わたしになにをしてほしいの

癩癩 敬虔、マックス・ウェーバーの次はなにを読んだらいい?

平穩、ねむる沈黙を見て歌う。

平穩 ゆりかこのうたを

カナリアがうたうよ

ねんねこねんねこねんねこよ

平穩、歌い続ける。(歌の中、芝居は平行して行われる)

体育館、敬虔と癩癩

敬虔 何も読まなくていいよ

癩癩 お父さんとか、お母さんって好きじゃないよね。いい人たちなのにね。言葉が

通じないんだもん。仕方がないよね

平穩 ゆりかこのうえに

びわの実がゆれるよ

ねんねこねんねこねんねこよ

敬虔 尊敬してる

癩癩 男の子と付き合ったことある? その子たちみんなつまんなかったよね。一緒にいるのが苦しかったね

平穩 ゆりかこのつなを

木ねずみがゆするよ

ねんねこねんねこねんねこよ

敬虔 そんなことない

癩癩 どこかには、いるのかな。どうしようもなく馬鹿で愚かで間抜けだけれど、それでもいいって思えるような、素晴らしい男。ファンタジーだよ

敬虔 傲慢だよ

癩癩 神様の話？

敬虔 癩癩だよ。癩癩は、傲慢

癩癩 (笑って) すこしは期待してたんだよ？あの学校。わたしとか敬虔みたいなのがいるかなって。だけどね、みんな、満足してるの。天使みたいな。ピカピカしたほっぺたで、朗らかに笑うの。みんな。みんなだよ？

敬虔 わたしはその、みんなの方だよ

鐘の音

癩癩 ……

敬虔 帰ろう

癩癩 嘘つき

敬虔 みんなが来るよ

癩癩 嫌だ！

敬虔 少しは自分の学校に戻らないと、留年しちゃうよ、癩癩

癩癩 つまらないことはっかり言わないで！

敬虔 癩癩！

癩癩 哲学よりわたしを選んだでしょう

敬虔 ……

癩癩 敬虔、卒業したらどうするの

敬虔 え？

癩癩 わたしと一緒にきなよ

敬虔、体育館から去る。

〇〇、癩癩に話しかける。

〇〇 癩癩

癩癩 え

〇〇 癩癩。あなたは癩癩だ

癩癩 ……

〇〇 あんたがまき散らした破片は辺り一面に埋まっている。人が通れば爆発するよ。

地雷みたいに

癩癩 意味が分からない

〇〇 あんたも踏むよ

癩癩 あなた、誰よ

〇〇 見えないの？

癩癩 誰よ！

〇〇 ……

癩癩 みんなを見てると苛々する。なんでそこで止まるのって、殺したくなる。なんでそこでまごつくの、なんでそこで立ち止まるの、なんで一歩か二歩前に進ん

ただけでそんな大喜びできるの。あなたまだまだ。まだまだなのに。自分の場

所が見えないの。今いる場所が見えてないの。わたしが同じだと思ってるの。

冗談。…迷惑 迷惑迷惑迷惑！一緒にしないで。この場所に立つてからものを

を言つて。馴れ馴れしく話しかけてこないで。汚くて愚かで馬鹿でブスで不細

工のくせに！同じものが見えないならこっちに来ないで。屑が。屑が。

…屑が。屑が屑が！敬虔。屑が、多すぎる

敬虔はいない。〇〇もない。

平穩 ゆりかこの夢に

敬虔

痲癩 ごめんなさい。嫌いにならないで

#15

平穩 黄色い月がかかるよ

敬虔 一人。話し始める。

痲癩 嫌わないで。お願い。敬虔

敬虔 ちよつと、恋愛の話でもしましょうか。

平穩 ねんねこねんねこねんねこよ

学生たち、話を聞こうと集まって来る。

痲癩 もう痲癩起こさないから。離れないで。暴れないから、ここにいて。お願い。

敬虔 友だちには決してつまびらかにしないわたしの恋の話

お願い。お願い。敬虔

女子学生たち、はやしたてる。

校内。息吹、〇〇。

息吹 何人かさ、学校やめた

敬虔 わたしは、そうですね、そんなに色恋に積極的なほうではありません。でも、たびたび思い返す出来事があります。二年生終わりのクラスコンパ。場所は、

〇〇 うん

息吹 飴玉とかも、最近見ないし

学校から15分くらいのスペイン料理屋さん。クラス担任の先生も参加していました。

〇〇 うん

息吹 黙っていなくなってほしくない

回想。コンパ。息吹、飴玉、敬虔、お酒が入っていい気分です話している。

〇〇 うん

息吹 (〇〇に) いなくなるなら、ひとこと言つてからにして

沈黙もいる。

〇〇 うん

飴玉 いまの彼氏と、まあ結婚するわけじゃないじゃないですか

教室。奔放、哲学に近づいていく。

敬虔 だつて将来とかわかんないし。でもそうすると考えちゃうわけですよ。いまこいつと一緒にいることはわたしにとって何なんだろう。未来のわたしにとって、

奔放 ねえ。一つ聞いていい？

一体何なんだろう。ひどいこと言いますと、これって飴玉の無駄遣いじゃね？

哲学 はい

つて

奔放 この学校が、好きなの？

学生たち、ブーイング。

敬度 人生の、糧？

鮎玉 そう言い切っちゃうのもちよっと

息吹 いいじゃん。この先ながいんだから。朝ごはん

鮎玉 一応永遠を望んでおくのが女子のたしなみじゃないですかあ

敬度 女子って

鮎玉 女子ー

息吹 やっぱめんどくさいから結婚しちやえ、鮎玉

鮎玉 だからあ。ないですって

敬度 相手に悪いよ

鮎玉 敬度ちゃん！？

敬度 結婚とかさ、する気なの

息吹 子ども産むよー。お母さんになりたい

敬度 そうじゃなくて、ずっと同じ人とやっていける？

鮎玉 敬度ちゃん、あれでしょう。ヴァージニア・ウルフの読みすぎ

息吹 ヴァージニア・ウルフの読みすぎ！

敬度 だって、約束なんて、できなくない？

息吹、鮎玉、酔ってて聞こえてない。

平穩 (先生役) できますよ

敬度 え

平穩 (先生役) 自由恋愛なんて幻想ですよ

敬度、言葉を失う。回想終了。

敬度 こう、ね。瞬間に先生のこと好きになっちゃったっていう。

話を聞いていた学生たち、首を傾げている。

敬度 息吹や鮎玉より、わたしの方がよっぽど実は甘ったるい女子でした。見抜かれ

た気がした。(笑って) これも女子の幻想ですかね。でも、若者ですから。恋
愛くらいしなきゃ。

敬度、その教師に直面している。

敬度 好きです。先生のこと。とても好き

学生たち、見守っている。

敬度 ……嘘です

学生たち、話を聞いていなかったかのように散っていく。

敬度 嘘つきなんです、わたし。……大学院のこと、考えてみます。今年中にはお返

事します

敬度、目の前には誰もいない。

敬度 ……嘘つきなんです。

#16

三年生の夏。

奔放 じゃあこれより会議、始めます

教室。奔放、哲学、○○。

哲学 でもさ、こんなことしてもわたしたちになにができるのか

奔放 なにもしなかったらただ壊されちゃうだけよー、体育館

哲学 そうだけど

奔放 行動力あるのに意気地がないのね、哲学は

○○ その前に教えてくれない。あなたどうして首突っ込んで来たの

奔放 ……

哲学 (○○の説明) あのね、この子もチラシ配ってたら興味持ってくれて。旧体育

館が好きな仲間で、協力してもらってて——

奔放 わたしも

哲学 はい？

奔放 旧体が好きなの。けっこう体育やったし。もったいないじゃん

○○ ……

哲学 一緒だね

○○ ……そうだね

奔放 で、どうすんの？哲学

哲学 はいっ？

奔放 わたし考えたんだけどさ、卒業生にけっこう有名人いるじゃん。そういう人た

ちに協力してもらおうよ。手紙とか書いて

哲学 あ、でもそういうのはOGの人たちがもうやって——

奔放 い・ま・学生のをわたしたちがやるっていうのに価値があるんじゃない。マスコミ

とかにもさあ、もうちよつと流そうよ。もう注目はされてるんだし。資料集め

たらなんかいいの出てるかも

○○ なんかいいのって

奔放 エピソードみたいなのでもいいし、戦争中とかさ、なんかありそうじゃない。

ここになんかやったって思い出でもいいよね、有名人の。あと建築学から見た

歴史的な価値みたいなのもいいと思う。とにかくぐつとつかむ何かがないと

哲学 すこいね

奔放 え？

哲学 わたしそういうのからつきだから。奔放さん、頼もしい

奔放 普通だよ

哲学 この建物の歴史。図書館行けば資料あるかな

○○ 講堂の資料室にそういうのあったよ。借りるの許可いるけど

哲学 さすが史学部。わたし行ってくるね。許可とれるかみてる

哲学、出て行く。

奔放 リーダーはそんなに動かなくていいのね

○○ 彼女、実践的だから。哲学のくせに

奔放 彼女、実践的だから。哲学のくせに

○○ 彼女、実践的だから。哲学のくせに

奔放、笑う。

奔放、笑う。

奔放 一本いい？

奔放 一本いい？

○○、頷く。奔放、煙草に火をつける。

○○、頷く。奔放、煙草に火をつける。

奔放 彼氏とか、いんのかな

○○ え

奔放 なさそうだよねー。お洒落もしないし化粧もしないし。真面目に勉強やって、

でもそれが楽しいんだらうね

○○ 哲学だから

奔放 あんたは？彼氏

○○ 男はあんまり

奔放 女が好きなの？

○○ まさか

奔放 女子大なんてさ、男の前でカマトトぶりたい奴らが入ってくるんじゃないの？

○○ (奔放を指差す)

○○ (奔放を指差す)

奔放 ……すべりどめ

○ ○ ああ

奔放 多いよね、この学校。国立とか私立の、もうちよいいとこのすべりどめ。でも結局ここしか受かりませんでした。ストッパー効きました、みたいな

○ ○ そうね

奔放 おかげで浪人しなくてすみましたあ。でもねえ、情けないんだよね

○ ○ 正直だね

奔放 ここにいる子何割かはそうだよ。無理やり楽しんでる。無理やり笑ってる

○ ○ だから、男遊びばかりやってるの

奔放 男遊び??

○ ○ もとい、男の子とばかり遊んでるの

奔放、無理に笑う。

○ ○ 息吹が心配してる

奔放 あんた、息吹の知り合い?

○ ○ (頷く)

奔放 あの子おおげさんだよ。大げさに泣くし、わめくし、笑うし、怒るの。あれでしょう? あの子の頭のなかではわたしは彼氏をとつかえひつかえ

○ ○ 捨てられて泣いて次にすがって慰められてやってまあいつかで付き合おうとしたらなぜか振られて、また泣いて、すがって——

奔放 ちゃんと付き合ってるよ

○ ○ ごめん。今のわたしのイメージ

奔放 ひどいな

○ ○ イメージ。いまの彼氏は元彼の友だちで、その前の彼氏もそうでした、みたいな

奔放、黙る。

○ ○ わたしそういうの駄目。狭い範囲で男と女がこう、だぶりまくる感じ

奔放 なんでさあ、初対面のあんたにそんなこと言われなきゃなんないの?

○ ○ 息吹が心配してる

奔放 知ってる! それが、なに

○ ○ ……ハムスター

奔放 は?

○ ○ ハムスター

奔放 なあに、それ

○ ○ ハムスター

奔放 ○ ○ つかみかかる。

奔放 なにが、わかるの

○ ○、奔放を押しつけようとする。

奔放 なにが。なにが、あんたにわかるの

奔放、なおも○ ○を離さない。

奔放 きれいぶって、清潔ぶって、あんたなんなの。なんなの。なんなのなんなの

んなの

○ ○ 痛い

奔放 男と、寝たことあるの。気軽にあがりこまれたことあるの。なんの痛みもない

くせに、わたしのことヒンとか——

○ ○ 忘れられたことあるよ。何度も

奔放 ……わたしは、忘れない

哲学、帰ってくる。

哲学 あれ

〇〇と奔放、黙っている。

哲学 許可ね、わたしたちでもオッケーそうだったけど。……どうしたの

〇〇 (奔放に) あんた、名前は？

哲学 え

奔放 ……

〇〇 奔放

奔放 ……

〇〇 奔放

奔放 うん

〇〇 そのわりに足かせが多い

奔放 ……

〇〇 あんたはちつとも自由じゃない

奔放 (頷く)

〇〇 あんたは一人だ

奔放 うん

〇〇 あんたは孤独だ

奔放 うん

#17

入学時のリフレイン。

敬虔・哲学 校舎を見てここに決めました。ここで勉強したいと思いました。勉強を。

奔放 美しかった。正門をくぐるとう芝生が広がっていて、

沈黙・平穩 その周りにぐるりと校舎が、左右対称に。

〇〇 シンメトリーに。

息吹 ビルディングみたいな、他の学校とはちがっていました。

秋。校内。癩癩、哲学を呼び止める。

癩癩 哲学！

哲学 癩癩、さん

癩癩 敬虔が来ないの

哲学 どこに

癩癩 旧体に！ 来ないの。来ないの来ないの来ないの。わたしどうしよう

哲学 仲良くなったんですね、二人

癩癩 どうしよう。こわい

哲学 通じるところがあるんじゃないかって思っていました。二人とも、頭いいですもんね

癩癩

癩癩 うちの学校に来なよって誘ったの、敬虔に

哲学 ……敬虔ならいけますよ、国立N〇。1でも

癩癩 そうしたら、来なくなっちゃった

校内。敬虔と飴玉。

飴玉 敬虔ちゃんっ

敬虔 ひさしぶり、かも

飴玉 敬虔ちゃん、今年こそはいつとこうか、ミスコン！

敬虔 こりないね、飴玉

飴玉 出版でアルバイト始めて、忙しくって。でも学祭はやるから。やりますからっ。

さあいこう、敬虔ちゃん。朝ごはんは薔薇と水！

敬虔 やだ、そんな砂糖菓子みたいな設定

飴玉 仙人みたいなもんだもん、敬虔ちゃんは。それでどう？まきか今年も舞浜とか
言わないよね

敬虔 今年は高尾山に登るの

飴玉 ええー

敬虔 一人でね

飴玉 ないわー。つてか、別の日でよくない？

敬虔 忙しくてもちゃんと授業でなよ。寮にはまだいるんでしょ？

飴玉 あー、あんまり帰ってなくて。……沈黙はちゃんとやってますかねえ

敬虔 沈黙？

飴玉 あの子、ほら友だちいないから

敬虔 飴玉ちゃんがそうなんじゃないの

飴玉 いやいやいやいや

パラー。沈黙、新聞を読んでいる。

沈黙 そして、だれもいなくなった、みたいな

誰もいない。

沈黙 独り言。沈黙のくせに

○○、現れる。

○○ 沈黙

沈黙 ……

○○ あなたのことを誰も覚えちゃいない

沈黙 ……

○○ 望んだとおりになるよ。みんなの記憶の中にあんたは隠れて見えなくなる

沈黙 実は、いつもいたんだけど

○○ でも何も言わなかったじゃない
沈黙 ……わたし、レアキヤラだから

息吹、走ってくる。

息吹 沈黙ー！

沈黙 え？

息吹 ケーキ屋さん、ケーキ屋さん、付き合って。(○○に) あなたもっ

沈黙 ……

息吹 お願ひ。もう頭おかしくなりそう。「怒りの葡萄」しんどーい！マーク・ト

ウエインが読みたーい！しんどーい！

沈黙、笑う

息吹 いこいこっ。もー飴玉じゃないけどさ、週に一度はケーキとか、メロンパンと

か、いせ屋とかないとやっていけないよお

○○ 息吹

息吹 あなたもいこっ

○○ 用事があるの

息吹 (がっかり) そっか

○○ 毎日楽しそうだね、息吹は

息吹 そんなことないよ

○○ しんどくて、苦しくて、嫌なことがあって、辛かったとしても、楽しそうだよ

息吹は

息吹 ばかに、してる？

○○ 朝ごはん、なに食べた

息吹 わたし？

○○ (頷く)

息吹 カフェオレとクロワッサン

〇〇 生きているのが楽しそうね、息吹

#18

三年生の冬。校内。哲学と敬虔。

哲学 あ
敬虔 あ

二人、偶然に出会う。

敬虔 元気だった？
哲学 うん

間。

哲学 あのね
敬虔 うん
哲学 ニーチェって梅毒だったんだって
敬虔 ……
哲学 ごめん

間。

敬虔 ちょっと、ショック
哲学 え
敬虔 ルー・ザロメに操を立ててほしかった
哲学 うん！

最近の会議の回想。奔放。

奔放 どうして学校側はなんにも聞き入れてくれないんだろ

敬虔 ほとんど読んでないけどね、ニーチェ

奔放 ここに建物があると車が通りにくいつてなに。建物があるなら避ければいいじゃん。道幅は十分にあるんだし

哲学、旧体の資料を敬虔に見せる。

哲学 いま、こんなことしてる
敬虔 ああ、旧体
哲学 うん
敬虔 おもしろい？
哲学 うん

奔放 まだ署名が足りないってことかな。まだ話題性が足りないのかも、学校を動かすには。わたしました、新聞社の人と連絡とってみる

哲学 卒論
敬虔 ん？

哲学 なににするの、敬虔

敬虔 ブロンテ姉妹とか、「アレクサンドリア四重奏」とか、テネシー・ウィリアムズとか、考えてるけど。哲学は？

哲学 敬虔、いまも岩波ブルーバックを読んでる？
敬虔 (頷く)

哲学 いい研究にしてね、敬虔

敬度 英文学部は全部英語で卒論だから、わたしがどこまでやれるかだけけど

哲学 もうすごいやつ書いちゃって

敬度 哲学

哲学 敬度の才能がうらやましかった

敬度 そんなの、ないよ

哲学 うらやましかった。勉強が楽しくて楽しくてしかたないって感じで

敬度 ないよ

哲学 敬度が本気で書いたらどんな論文になるんだろ。わたし、読みたい

敬度 ……

哲学 読みたいの

敬度 ……買いかぶり、すぎだよ

敬度、去りかける。

敬度 そろそろ、行かなきゃ

哲学 つぎ、なに

敬度 スタインベック

哲学 わたしラテン語

敬度 へえ

哲学 正直落としそう

敬度 哲学も、しっかり卒論書いてね

哲学 ……

敬度 カントなのかプラトンなのかニーチェかわかんないけど。わたし読みたい

哲学 ……ありがとっ

#19

四年生の春。パーラー。〇〇、平穩。

〇〇 四年目の春だね

平穩 シュウカツ、大変だねえ

〇〇 なにもしてないじゃない

平穩 (笑う)

〇〇 みんなに悪いよ

息吹、やってくる。

息吹 おはよ。優雅ね、なんか

〇〇 息吹こそ

息吹 市役所とかはもうちよつと先だから。ひまひま。でもやってるよー、就活も卒論も

平穩 卒論、なにについて

息吹 ハックルベリー・フィンを中心にマーク・トウウエイン

平穩 真つ当だね

息吹 平穩は？ シェイクスピア？

平穩 「嵐が丘」だよ、決まってるだろ

息吹 かっこいい。あなたは？

〇〇 卒業、できないかもしれない

息吹、息をのむ。

息吹 単位、たりてない？

平穩 ほつときな

息吹 でも、史学部ってそんな厳しいの？

平穩 卒業する気がないんだよ

息吹 真面目に学校来てたよ？ねえ

平穩 卒業したくないんだよ。この子も。わたしもね

息吹 ……。卒論、「風ヶ丘」

平穩 書くよ。趣味でね。提出はまずしないね

○ 息吹にはわからないよ

息吹 待つて

平穩 どうしてこの子に構った

○ 見てくれた

平穩 だれだつて、見えるときはある

息吹 待つて!

○ ……息吹

息吹 わたしは、ここに居続けるのは、嫌だよ

息吹 おそろのおそろ話しだす。

息吹 そりゃあ、楽だよ。勉強はめんどくさいけど、楽しくないわけじゃないし、レジュメ作ったり、日本語訳したり、それで徹夜になることもあるけど、打ち込んでる感じ、するし。わたし体育とか、音楽とかばっかりやってたけどさ。あと好きな先生の授業なのに寝ちやつたりするけど。バイトとか、デートとかでさぼったりもするけど。…何の話だっけ

○ ここに居続ける話

息吹 そうだ。だからわたしも、好きなんだよ。他の学部の授業は、知らない世界にちよつと踏み込めた感じするし、あと、図書室のテラス席、気持ちいいし、学食で限定のバスタ食べられるとやっただあつてなるし、こうやってパーラーで友だちと話す時間があつてうれしいし、部屋に引込めば一人でテレビを見たり歌を歌ったり自由だし

○ 歌は隣に迷惑だけど

息吹 ごめん。彼氏、彼氏のことでごんなに頭いっばいにできるのもしかしたら今だけかも、とか考える。実家から仕送りもらつてるから、アルバイト代で好きなもの買える。あんま高いのは無理だけど。あとやっぱり、悪いなあって思っただけど。…いい時間だと思っ。いい時間もらつてると思っ

平穩 見当違いなんだけど

○ 平穩

息吹 最近、会えないの

○ 彼氏?

息吹 敬虔と、奔放と

○ それぞれやつてるよ

息吹 体育、とらなくなつた。今年は敬虔も奔放も誘えなくて、一人じやさみしくて、とらなくなつちやつた

○ 息吹

息吹 入学したときうれしかったの。あの二人と大学も同じになるなんて思つてなかつたから。うれしかったの

○ 息吹、子どもみたい

息吹 22歳なんて信じらんない。わたしなんにも解決できない

○ 子どもみたい

息吹 敬虔がはやくわたしたちを置いていってくれたらいいのに。奔放が、わたしたちのままで泣いてくれたらいいのに。二人に言える言葉がないの。見つからないの。それが本当に、悔しい

#20

四年生の春。奔放と鮎玉。

鮎玉 そんなすごいのか?旧体つて

奔放 創立当時、大正時代ね、女子大に体育館なんてほとんどなかつたんだつて

鮎玉 うちの雑誌、ファッション紙だよ?

奔放 うまいことやつてよ

鮎玉 10代向けだよ?しかも頭の軽い方の10——

奔放 いいから!

鮎玉 奔放、就職は大丈夫なの?

奔放 なんとでもなるよ

鮎玉 っつか卒業、大丈夫？

奔放 なん……

鮎玉 ねえ

奔放 なんともなるよ

鮎玉 (やれやれ) 奔放、変わらないね

奔放 変わったでしょ

鮎玉 すこしは後先考えなよ

奔放 とにかくコンサートの告知、お願い。これも書いという。創立者は体育館をみ

んなが集まる場所にしたかったんだって

鮎玉 ジャスコみたいなの？

奔放 馬鹿

#21

#19・#20の数時間後、バーラー。平穩と〇〇。

平穩 ガキのモラトリアムなんかと一緒にされちゃったねえ

〇〇 ……的外れって言いたいのか

平穩 そりゃあそうだろう

〇〇 旧体育館

平穩 ん？

〇〇 あなたはなにもしないの

教室。奔放と哲亭。

哲亭 ごめんね

奔放 なにが

哲亭 わたし、役に立ってない

奔放 そんなことないよ。哲亭が始めたんじゃない

哲亭 役に立ってない

奔放 いいから言うとおりに動いて。大丈夫だから

平穩 わたしは平穩だからね

〇〇 なにもしないの

平穩 昔は大学のなかに小さな劇場があったね。スロープがあって、芝生があった。

そこでゴロゴロしたもんだけど、いまは新しい校舎が建ってる。いま図書館が

ある場所には庭があった。万葉集の草木を植えた、ままだとみたいな庭だった。

講堂は図書館だった。図書館として建てられていた。わたしはそこが好きだったけど、本は年々増えるからね

〇〇 なにもしないの

平穩 もっと緑が多かった。いや、初めは少なかったけど、卒業生がどんどん植えて

いった。それもだいが削られたね。あんた、なにを期待してるのさ

〇〇 大事なことだよ

平穩 どうせいつかみんな死ぬんだよ

敬虔、癩癩のいる体育館に現れる。

癩癩 敬虔！

敬虔 ……

癩癩 敬虔……

敬虔 わたしは最低なの

癩癩 最高だよ

敬虔 勉強はちっちゃい頃から、なんでかできたの

癩癩 わたしもだよ

敬虔 でもそのころは、共有もできたの。つつじの蜜を吸うこと、くつつく葉っぱを

投げること、校歌を歌わないこと、先生の髪の毛の薄さとか、給食のにんじん

ゼリーの吐きたくなるあの味とか、掃除の時間の雑巾レース、放課後に回り道

をすること、夕焼けを坂道でみることに、また明日って言うときどき寂しいこと

と
痲癩 勉強が楽しいってだけか言ってた

敬虔 ……

痲癩 共有できてない

敬虔 でも楽しかった

痲癩 わたしという方が楽しい

敬虔 楽しかった！息吹と、奔放と、みんなで小学生をやつて、中学生をやつて、

楽しかった。高校だつておなじにした！

痲癩 無理したんだ

敬虔 楽しかった！体育祭をして合唱祭をして学祭をして漫画読んで彼氏つくつて

痲癩 楽しかった？

敬虔 まだ、楽しかった

痲癩 ……

敬虔 息吹と話すのも、奔放と話すのも

痲癩 敬虔

敬虔 ときどきならいいの。毎日は無理。週一回、ううん、月一回なら

痲癩 わたしとは毎日会おう

敬虔 哲学と話すのも楽しくなくなっちゃった

痲癩 わたしの友だち

敬虔 あなたともきつとそうなると思つた

痲癩 ……

敬虔 痲癩 わたしはあなたも捨てると思う

〇〇 平穩

平穩 何

〇〇 平穩

平穩 ……わたしにもなんか言う気かい？

〇〇 わたし、覚えてるよ。あなたがまた運動だったころ

平穩 そんな昔のこと

〇〇 覚えてる。運動。007(ゼロゼロなな)番、そう呼ばれたよね、あなた

平穩 ……

〇〇 戦争が始まる前。校舎にコーラルが塗られる前の話だよ

平穩 昔のこと

〇〇 平穩なんかになっちゃつて

平穩 とても昔のこと

〇〇 001番があの人だったね

平穩 とてもとても、昔

〇〇 (唄う) たて、呪われしもの

たて、飢えたるもの

平穩 ……

〇〇 正義の焔は今こそ燃ゆる

平穩 もう誰も知らないよ

〇〇 過去をば捨てて奴隷よ立て立て

平穩 (首を横に振る)

〇〇 世はくつがえる無よりすべてに

この戦いに つどえよ明日は

インタナショナル われらがものよ

この戦いに つどえよ明日は

インタナショナル われらがものよ

平穩 ……

〇〇 あのころはみんな運動だった。そう思っているでしょう

平穩 みんな運動だったよ。みんなわたしだった

〇〇 ちがう

平穩 ……あの人だった。運動の001番。わたしたちのリーダー

〇〇 あの子は運動じゃない

平穩 なにを言ってるの

〇〇 002番は自立だった。003番は清潔だった。知らなかったでしょう。00

7番あなたが運動だった

パーラー。 鮎玉、沈黙に呼びかける。

鮎玉 沈黙

沈黙 ……

鮎玉 就職うって？

沈黙 ……

鮎玉 なんか予想通りね

沈黙 みんなみたいに、わたし、できない

鮎玉 わたしたちだって必死だよ。まあだから、わたしたちが必死なぐらいなんだから、あんたは一度死ぬくらいじゃないと無理なのかもね

沈黙 ……不公平だ

鮎玉 いまに始まったことじゃないでしょう

沈黙 (うなづく)

鮎玉 わたしこれから授業だから。猫でもパスするシェイクスピア演習。あのヅラ先生

沈黙 あの人、ヅラだったの!?

鮎玉 (驚いて) うん

沈黙 わかんなかった

鮎玉 まじで?

沈黙 どうして、わたしこうなんだろう

平穩 あの人以外の誰が運動だって言うの

〇〇 だから、あなた

平穩 ……あなたは

〇〇 え

平穩 一緒にいたわね。先生にみつからないようにマルクスをまわし読んだ。寮のなかで小声で歌った。インターナショナル。わたしたちは本気だった。学祭では

一緒に修善寺物語をやったわね。運動の009番。わたしは当時そう信じていた

〇〇 ……
平穩 あなたは違ったの

過去から、001番が現れる。息吹の俳優。

息吹 (001) どうしたの

息吹、平穩に話しかける。

息吹 (001) 幻のようね。夢か、幻

平穩 ええ

息吹 (001) ここにはもうなにもないのに、まだあの熱狂は失われていない。空気の中に失われずに漂っていて、手を伸ばせば触れられそう

平穩 ええ
敬虔 (002) 夜叉王

002番、003番が入ってくる。敬虔、奔放の俳優。

敬虔 (002) まだ興奮から抜けかないの?夜叉王

息吹 (001) 嫌な人

奔放 (003) 大変な名演だったって、他の学校の方々も口々におっしゃられていたわ。ねえ

平穩 ええ。演技も演出も、水準が高かった、予想以上だったって――

〇〇 (快活に) 他所様の評価が気になるの?

平穩 え?

〇〇 気になるのね。「水準が高かった」?ふうん。楽しんだかどうかを聞けばいいのに

奔放(003) あーあ。昨日、ここで涙を流していたあの娘さんは何処へいつちやったのかしら

〇〇 泣いたのは、段取りよ。お稽古どおりよ

奔放(003) あんなに可愛かったのに

敬虔(002) あなたもりりしかった

平穩 嘘みたい

敬虔(002) 夜叉王

息吹(001) ん？

敬虔(002) まだ夢の中にいるの

息吹(001) そんなじゃないわ

敬虔(002) でも、いつものあなたらしくない

〇〇 覇気がないわ

奔放(003) そうね

〇〇 まったく覇気がない。あなたがそんなだと、周りのみんなも元気がなくなるわ。どうしたっていうの。言って御覧なさい。ホラ、あなたの娘に

息吹(001) ある方に言われたわ。君のあの最後の台詞、あれはよくない。君はじつと娘を見ていた。君の声は震えていた。君の台詞はほとんど泣いていた、あれには死ぬゆく娘への情があつた。芸術家とはもつと冷酷なものだ。芸術に生きるものももつともつと容赦のないものだ。あれは、女の情だ

平穩 どなたがそんなことを？

息吹(001)、答えない。

敬虔(002) 最後の台詞

奔放(003) 覚えてるわ

息吹(001) 「やれ、娘。わかき女子が断末魔の面、後の手本に写しておきたい。

苦痛を堪えてしばらく待て。」

〇〇 ……

息吹(001) 「苦痛を堪えてしばらく待て。」

#22

体育館 癩癩

癩癩 敬虔

癩癩、体育館の床を蹴る。

癩癩 敬虔。敬虔。敬虔！わたしを捨てるって言った。捨てるって言った。なんて女。敬虔。…一人にするって言った

教室。奔放の前に〇〇。

〇〇 面白い資料があるの

奔放 (顔を上げる)

パーラー。夢から覚める平穩。

平穩 懐かしい

体育館にやってきた息吹。

息吹 どうしたの

平穩 夢を見たよ

癩癩 あなただれよ

平穩 昔の夢

息吹 わたしは、息吹

平穩 かつてここにいたわたしの夢

痲癩 ……痲癩

息吹 知ってる。一年の初め、社交ダンス部に見学に行ってたでしょ。わたし、一緒だったの

痲癩 覚えてない……

息吹 あなた、すごい下手だった

痲癩 ……

息吹 あっちの学校の人だよ

痲癩 そうだけど

息吹 ようこそ

痲癩 え

息吹 ようこそわが学び舎へ

。パーラー。 鮎玉と沈黙がやってくる。

鮎玉 平穩

平穩 ……

鮎玉 泣いてるの？

平穩 いや

鮎玉 辛いことあった？男に振られた？

平穩 (首を振る)

沈黙 ごはん、食べた？

平穩 ほんとかどもだね、あんたたちは

教室。 奔放、哲学。

奔放 校舎保存会の人たちね、請願書また出したけど返事がないって

哲学 そう

奔放 哲学、やせた

哲学 知らない人と電話とか、苦手なだけ

奔放 これ、知ってる？

。 奔放、哲学に資料をわたす。 哲学、読む。

哲学 一九二八年

奔放 昔の学生はまじめよね

哲学 マルクス

奔放 戦前の社会主義運動とかさ、デモクラシーとか？そういうのはよくわかんない

けど、この学校がそんな逮捕者出ちゃうくらいやっているとどうだとは知らな

った

哲学 ……うん

奔放 ネットからの論文盗作で退学になってる子はいたけど

哲学 うん

奔放 治安維持法ってねえ。そういえば受験のときやったわ。日本史で

哲学 うん

奔放 米騒動ばかり覚えてる。米騒動

哲学 女工哀史

奔放 あ、それも

哲学 ここいいね、警察から介入があっても、学校の中には決して立ち入らせな

たって

奔放 ん？

哲学 治外法権 いいよね、そういうの、大学って

奔放 どうしたの
哲學 ……ごめん

〇〇 ごめんね

奔放 どうしてあやまる
哲學 この学校が、好きじゃいられなくなりそう

体育館

息吹 癩癩

癩癩 呼び捨て？

息吹 きらきらしてる

癩癩 はい？

息吹 ひかり。きらきらして見える

癩癩 ……

息吹 空き時間があるなんて知らなかった。ここで体育をした。友達と。ダンス、バ

トミントン、エアロビ、卓球、バレーボール、フットサル

癩癩 体育大学みたいね

息吹 高校までは好きじゃなかったんだよ、体育。縄跳びとかマラソンとか死ねって

思ってた。めんどくさかったあ

癩癩 ……なんで——

息吹 もう体育なんてできないから

癩癩 わたしはまったく構わないな

息吹 あと先生が好きだったし

癩癩 なんであんた。ペラ。ペラ。ペラしやべるの

息吹 癩癩。泣いてたじゃない

癩癩 ……

息吹 最近知ったの。この体育館壊されるんだって。私たちが卒業して数年したら、

もうここで体育を習う学生はいなくなるんだって
癩癩 今頃？
息吹 おそいの？

#23

ペラー。平穩 〇〇。平穩が活動的である。

〇〇 なにしてるの

平穩 運動だよ

〇〇 運動をするの

平穩 思い出させたたる

〇〇 平穩のくせに

平穩 守るんだよ。この学校を。かわいい同級生たちを。そのためには運動にでも戦

争にでもなれそうだよ

〇〇の回想。(1927年。岡谷の山一林組製糸工場大争議の前。)

息吹(001) 山一の女工たちのところへ行くの

〇〇 どうして

息吹(001) わたしたちは恵まれているわ

〇〇 そんなことわかってるわ。けどどうしてそこまで赴かなくちゃならないの

息吹(001) わたし、いやなの。わたしたちだけが恵まれているなんて、嫌なの

〇〇 あの男がいるからなんだわ

息吹(001) ちがう

〇〇 オルグしろって。そう頼まれたのでしょうか。わかってるんだから

息吹(001) ちがうの

〇〇 卒業してからでいいじゃないの。どうして今いくの

息吹（001） 二人で話し合ったのよ。彼女たち、もう見てられないわ。故郷が近

いのよ。湖南村から平野村、今は、岡谷。山一があるところよ。そこは近いわ

〇〇 ここからは遠いわ

息吹（001） わたし、結婚するわ。お嫁に行くんじゃないのよ。結婚するの。同志なの。望まれて、わたしも望んで、二人で一緒になるんだわ

現在。

平穩 あの人はいだれだったの

〇〇 え？

平穩 わたしたちのリーダー。001番。そう名づけられた人

〇〇 ああ

平穩 ずっと運動だと信じてた。あの人はいだれ？自由？同情？扇動？革命？

〇〇 わたしは昔、息吹だった

〇〇、語りだす。

〇〇 息吹だった。この学校に来て、わたしは呼吸を一つした。大学だなんて、東京だなんて、ここで勉強ができるだなんて。あのころは大学に来る人って、もう

結婚した後で、学校の先生とか、そういう方が多かったから。女学校からそのまま上がってきたわたしみたいなのはなんだか浮いてた。足元がふわふわしていた

平穩 それはあんた、浮かれてたからだよ

〇〇 あの人はい、やっぱり故郷で先生をしてから大学に来てた。だから少し年上だった

平穩 そうだったつけ

〇〇 楽しかったね。マルクス。エンゲルス。ベーベル。伏字だらけだった。わたしたち、まるでプロレタリアートじゃなかったのに。熱中したね、平穩。「資本論」の原書を手に入れてくれたのは誰だったんだろう。先生たちにみつからな

いようにするのがとりわけ楽しかった

平穩 毛布にくるんで連んだね

〇〇 楽しかった

平穩 ドイツ語ばかり詳しくなった

〇〇 あなた、英米文学部なのにね

平穩 ある日真夜中に車が来て、わたしたちは監獄に入った

〇〇 ……

平穩 あの人はいわたしを励まし続けた。殴られても、どんなに拷問されても。優しくかった。インターを歌って、考え方を変えなくてもいいのだ、そう言ってくれた。わたしたちは正しいのだと

〇〇 正義じゃないわ

平穩 わかっている。転向する人は多かった。わたしは真つ先に転向した。慣れてなかった。殴られること、…あと、いろいろね。わたし、言っちゃ悪いけどいいところのお嬢さんだったから

〇〇 あなたは学校に戻ってきた。そのあとも、大体の人はもどってきた。先生方はわたしを退学処分にはなさらなかった

平穩 あの人はい帰ってこなかった

〇〇 死んじゃったね

回想。（1928年。3・15の大量検挙の後。独房）

息吹（001） この人たち、おかしいのよ

〇〇 本を持ってきたの

息吹（001） あの人はい転向したって言うの

〇〇 ……

息吹（001） そりゃあ男の人のほうが大変でしょう。どこまでも、どこまでもど

こまでも殴られ続けるんでしょう。女は失神しますからね。裸にされて火箸をあてられても、失神しますもの。水をかけられたって起きやしないわ。ねえ？

〇〇 ……本を、持ってきたの

息吹(001) ありがとう。わたし、飢えてたのよ

〇〇 少ないけど

息吹(001) でも最近頭が悪くなったみたい。カントを読んでもよくわからなくて

〇〇 顔色が悪いわ

息吹(001) 中性になったからよ。月経がなくなったの

〇〇 病気じゃないの

息吹(001) 中性っていいものじゃないわね。頭が悪くなるなら、女のほうがいいわ

〇〇 顔色が悪いわ

息吹(001) 病気もかまわないわ。病気なら外に出られる。伝染病だっていつて、

獄舎のみんなを外に連れ出す事だってできるかもしれないわ

〇〇 どうか、身体を治して頂戴

息吹(001) 転向したなんて嘘だわ

〇〇 学校に、戻ってきて頂戴!

息吹(001) ……。「やれ娘、若き女子が断末魔の面、後の手本に写しておきたい。」

〇〇 やめて

息吹(001) 「苦痛を堪えてしばらく待て。……こわがらないで。わたし、ち

っとも狂っちゃいないんだわ。今日を生きなくちゃいけない。今日を生きて、

明日を生きても、いつかみんなをここから出して、わたしもここを出るわ。あの人のところに帰るの。だから、ねえ、もう少し。「苦痛を堪えて」しばらく待

って

〇〇 夜叉王

息吹(001) (歌う) たて呪われしもの、たて飢えたるもの
正義の焔は今こそ燃ゆる

息吹・奔放 卒業。

敬虔・哲学 卒業論文。

沈黙 わたし就職決まってる。

奔放 単位足りてない。

飴玉 でも卒業論文。

〇〇 お別れだね。

息吹 卒論が書き終わったらね。

平穩 勉強なんてやらなくなるね。

息吹 え。

飴玉 ジョン・バース。

敬虔 「ストーリーを続けよう」

沈黙 「怒りの葡萄」

息吹 スタインベック。

平穩 「ダロウェイ夫人」

飴玉 ヴァージニア・ウルフ。

息吹 なんてこわくない。

敬虔 エドワード・オルビル。

〇〇 こわいものは

息吹 アイスクリーム。

飴玉 ケーキ。

沈黙 買い食い。

平穩 散財。

奔放 赤点。

敬虔 好きな人。

癩癩 好きな人。

息吹 卒論、英語で書くのしんどい。

哲学 「ツアラトウストラかく語りき」

鐘の音。

冬。パーラー。息吹、沈黙、鮎玉、〇〇。

鮎玉 なんかの雑誌に、敬虔の論文がのってるんだって

沈黙 ……

鮎玉 なんかもう、ちがうよねえ

沈黙 (頷く)

鮎玉 雑誌って、論文とか載るもんだっけ

〇〇 論文とか、載るもんだよ

沈黙 …… (息吹をみる)

息吹 わけわかんなかった

鮎玉 読んだの？

息吹 友だちだから

鮎玉 そっか

教室。奔放と哲学。

奔放 立派だね

哲学 そんなことない

奔放 立派だよ。哲学は、とてもしりっぱ。哲学はね、哲学にしかできないことをしたよ

よ

哲学 わたしは奔放みたいに運動できないから

奔放 わたしよりずっとずっととずっとと高級な、上等なことをしたよ

パーラー。

鮎玉 なにについての論文？

息吹 神様についての論文

鮎玉 神様って

息吹 キリスト教のね

鮎玉 それを書くよ、どんないいことがあるの？

〇〇 どんないいことがあるんだろうね

鮎玉 お金がもらえるの？

沈黙 あ

鮎玉 バイトは今日休み

息吹 敬虔は神様を信じてないんだよ

鮎玉 はい？

息吹 敬虔は神様を信じていない。教会はつか行ってるけどね、信じてない。キリス

ト教の神様を、仏教の神様を

〇〇 神道の神様をイスラム教の神様をヒンズー教の神様をジャイナ教の神様をソ

ロアスター教の神様をマニ教の神様をチベット仏教の神様をバラモン教の神様

をロマ族の神様を、信じていない

息吹 うん

沈黙 ……

息吹 でも敬虔は神様に忠実なの。嘘をつけないの。出し惜しみできないの。勉強し

ちゃう。だからね、わたしには全然わかんないけど

〇〇 わたしにも全然わかんないけど

息吹 この論文はきつとすごいよ

教室。

奔放 もういいよ

哲学 奔放？

奔放 つかれた。もういいよ

パーラー。敬虔が入ってくる。

敬虔 みんな

息吹 おめでどう

鮎玉 ひさしぶり

敬度 これ、読んで

敬度、紙の束を配る。

鮎玉 息吹が読んだって

敬度 哲学が書いたの。哲学のやつ、卒論のほかにもう一本書いてたの

息吹 哲学？

敬度 わたしの友だち。すごい。いいの書いてたの

奔放 わたし、降りる

敬度 「アントニン・レーモンド建築旧体育館を中心とする校舎の研究」。知ってる？

なくなるんだって、旧体。それについての論文。あの子体育館を守りたくて、

それについての論文

息吹 敬度

敬度 息吹、読んで

息吹 いい友だちができたんだね

敬度 なに息吹。お母さんみたい

息吹 おめでどう

敬度 ……ありがとう？

息吹 本当に、おめでどう

敬度、息吹の言葉の裏にあるものを理解して責めめる。

敬度 …………。ありがとう

#25

沈黙 体育館

息吹 三号館の奥にありました。旧体育館、ちいさな体育館

敬度 隣には新体育館がありました。バレーボールやバスケットボールのサークルは

主にこちらを利用してました。

哲学 小さな、きれいな、建物でした。

癩癩 古びた、忘れられた建築物でした。

沈黙 旧体育館のさらに奥、図書館がありました。

平穩 その向こう、学生寮がありました。

鮎玉 そのちよつと手前、カフェテリアと購買がありました。

〇〇 それらが門をくぐっただけでは目に見えない場所

息吹 体育館

沈黙 (左、事務局奥) 三号館、西館、小教室。

癩癩 (正面、芝生奥) 二号館、講堂、大教室。

哲学 (右、教会奥) 一号館、東館、小教室。

息吹 芝生！

平穩 には池があつて、金魚みたいなものが泳いでいました。

鮎玉 よく猫が来ました。ふとちよの、ぶすな猫。きつと金魚を食べていました。

息吹 事務局と。

敬度 教会。

〇〇 門をくぐって目に見える場所

パーラー。沈黙と鮎玉。

鮎玉 読んでるの

沈黙 (頷く)

鮎玉 卒論終わっても、テストあるでしょー

沈黙 ……バイト

館玉 やめた。英会話 始めた

沈黙 ……

館玉 わたしやっぱスッチー、CAね、なる。なりたい。うん

沈黙 (目を見張る)

館玉 内定、取り消しちやっつた

沈黙 (笑う)

館玉 なんだよ。読めよ、論文。読め。読めっ

沈黙 (楽しそう)

館玉 楽しいのかよー。そんな楽しいのか、論文は。バカ野郎っ

旧体育館。息吹、哲学の論文を読む。

息吹 中心に、体育館はあります

癩癩 一人で哲学の論文を読んでいる。

癩癩 あの子

息吹 授業を受ける、勉強するエリアと、寮やカフェテリアなどの生活をするエリア

癩癩 論文なんて書けたんだ

奔放 一人で哲学の論文を読んでいる。

奔放 (笑っている)

息吹 その中心に体育館はあります

癩癩 研究なんてできたんだ。へーえ

息吹 この建物は、そもそも創立者とアントニン・レーモンドによって、体育館兼社交館として位置づけられていました。体育はもちろん大事でした。大正期の新しい女性たちには、新しい身体、体育による軽やかな身体が必要だと、考えられていました。しかしそれ以上にこの場所は、旧体育館は、授業を終えた学生が友人とおしゃべりを楽しんだり、これから授業に向かう学生が立ち寄って友人を見つけたら、図書館で大荷物になった学生が荷物の整理をしたり、カフェテリアで食事の後一休みをしたり、たまにはイベントを開いたり、お茶会、球技大会、演劇、英語劇、コンサート、ダンスパーティー

癩癩 へーえ

息吹 そういう場所になるように、設計されていたのです

体育館 哲学、入ってくる。

哲学 あの、それ、もしかして

息吹 哲学？

哲学 ……はい

息吹 (嬉しそう) ここならいつか会えるって思ってた

哲学 どちらさま？

息吹 息吹です。英文四年。敬度の幼なじみ

哲学 敬度の？

息吹 うん。(論文を) すごいね

哲学 ああ。ありがとう

息吹 これ好き。哲学も好きだよ

哲学 (面食らいつつ) ありがとう

奔放 ちょっと、恋愛の話でもしましょうか。

パーラー。鮎玉、沈黙。鮎玉、論文を読んでいる。

鮎玉 やつぱりジャスコじゃん

沈黙 ……

鮎玉 休日になるとね、ジャスコに行くの。わたしの実家。お洒落していくの、ジャスコに。必ず誰かに会うから。みんなジャスコに集まるの。いい場所なの。わかる？

沈黙 ……

鮎玉 中学生はジャスコで洋服を買うの。高校生はジャスコで映画を見て、ジャスコの非常階段でキスをして、夜の畑に消えるの。大学生になっても夏休みにジャスコに行ったら必ず誰かに会うの。お洒落していくの。楽しい場所なの

沈黙 ……

鮎玉 ジャスコしかなかったもん。ジャスコとしまむらだもん。駅前商店街よりわたし、ジャスコが好きだったもん

奔放 わたしにしちゃあ珍しく、だれにも話せなかった恋の話

鮎玉 こじやれたお店がわんさかあるような土地に育った人にはわからないでしょうね

鮎玉と沈黙の元に〇〇が表れる。

沈黙 とつさに鮎玉を背後に隠そうとする。

〇〇 ……

鮎玉 (沈黙に) いいよ。平気

沈黙 え

〇〇 あんた、名前は

鮎玉 鮎玉、ですけど

〇〇 あんたは溶けていなくなる

鮎玉 ……

〇〇 甘い時間はすぐに終わる。残念だけど

鮎玉 …… (微笑む) わかってるわよ。そんなこと

鮎玉、笑っている。

息吹 この学校が、好き？

哲亨 …… (頷く)

息吹 わたしも

哲亨 いろいろ、あったけど

息吹 ね。もう卒業だね

哲亨 敬虔。何か言ってた？

息吹 推薦合格したって

哲亨 そっか

息吹 いっそハーバード大学でも行っちゃえばいいのにねえ

哲亨 ケンブリッジの方が、似合う

息吹 ……そうなの？

哲亨 うん

奔放 男の子なんて、優しくしてくれればいい。ちやほやしてくれればいい。それでもあれですね、初めてビッチって呼ばれてるのを聞いたときはショウゲキでした。そいつと、そのあとセックスするのが苦痛でした。もう別にだけど。

癩癩 ちよつとは、ましなことができるんだ、あんな子でも

平穩 昔はここには小さな劇場があった。スロープがあつて、芝生があつた。

癩癩 ここが好きってだけで。くだらない

平穩 もっと縁が多かった。初めは少なかったけど、卒業生がどんどん植えていった。

癩癩 哲学のくせに、癩癩も起こせないくせに、神様に愛されてないくせに

平穩 (呟く) たて、呪われしもの たて、飢えたるもの

正義の焔は今こそ燃ゆる

過去をば捨てて奴隷よ立て立て 世はくつがえる無よりすべてに

この戦いに つどえよ明日は インタナショナル われらがものよ

この戦いに つどえよ明日は インタナショナル われらがものよ

(歌の中、芝居は平行して行われる)

息吹 哲学、就職は？

哲学 息吹は？

息吹 実家に戻って市役所

哲学 すごい

息吹 すごくないよ田舎だもん。でも徒歩15分

癩癩 神様

奔放 女を平気でぐさつて傷つけますね、男は。傷つけてるって自覚がないところが

また傷つけますね。でもいまはそんなのどうでもよくて、わたしの恋の話。高

校生のころの話

癩癩 わたしを愛してる？

哲学 ……論文書いてて、しそこねちゃった、就活

息吹 馬鹿

哲学 ほんと

息吹 大学院は？行けばいいのに

哲学 敬度みたいな人に会うのは嫌

癩癩 そろそろ、勉強しよう

息吹 普通はないよ、あんなの

哲学 会わないのも嫌

癩癩 勉強しよう。好きなものをつくらう。目が回るくらい、好きなもの

敬度、語りだす。

敬度 わたしは、神様に愛されているのは息吹だと思います。

奔放 タルトを食べに行きました。映画とタルト。最近ないけどそんなデートでした。

ブルーベリーが山盛りのタルトがおいしいって、それで誘って。修学旅行委員で一緒だったんです。格好いい子じゃなかったけど、好きでした。タルトほん

と超うまくて、紅茶もおいしくて、彼がいて、もう、やばくて。こそばゆくて。

この瞬間すごいしあわせだ、すごいしあわせがいま私の半径30センチのところに溢れている。しあわせだしあわせだ、それをその時感じました。しあわせ

なときにいましあわせって、そう言えるときってあんまりなくて。だから

敬度 遠ざかかって言われています。どんどん、どんどん、遠ざかかって。わたしはそ

の声に逆らえません。本を読みます。感じます。考えます。祈るように考えます。それから眼をこらします。耳をすませます。見たもの、聞こえたもの、それらをとりにこんで、また考えます。本を読むのは別にいいけど、研究したくなるのも別にいいけど、わたしはむかし、みんなといるものを共有してい

た。わたしの朝ごはん、薔薇と水。それでもかまわないくらい、いまはなにを食べたか覚えていない

奔放 そばにいて。

敬虔 ケーキの味を、むかしはもつと楽しめた気がする。

奔放 見捨てないで。

敬虔 服屋さん、もつと輝いてた気がする。

息吹 哲学も十分すごいのに

哲学 ……

奔放 わたしの、ものになって。

敬虔 そこでもうじたばたすることはなくなった。

息吹 でもここ、社交館じゃないよね

哲学 それは、これから変えていけば――

息吹 この時間以外さ、体育があるよね、体育めっちゃめっちゃ入ってる。放課後は社交ダンスサークルが踊ってる。いつだって誰かが何かをしている。わたしもここで体育をした

敬虔 心が騒ぐこともあります。素晴らしい研究を目にしたとき。あとわたしの研究 本当にいい線いっているのか、不安になったとき。そういうときには心がじたばたします。でも普段はわたしの周りは静かです。

息吹 ここは、多分とても体育にいい建物だったんだよ

奔放 ……そう言って、振られました。

哲学 でも、計画は

敬虔 音楽みたいに、静か。

息吹 わたしね、ここにいと床に座りたくなるの

哲学 へ？

息吹 椅子があっても、床に座りたくなる。椅子つてほら、「座ってください」って形してるでしょう？だからこつちも「そつですか」ってなりそつなだけどね、ここにいと「いや、こつち」って。いろんな座り方したいから「こつち」って。床が椅子に勝つのは、なかなかすごいことだと思っよ

哲学 (床に座ってみる)

息吹 (笑って) この建物が好きね、哲学。何事も計画通りにはいかないね。レーモンドさんは思わなかったよ、きつと。壊されそうになって、論文書いてもらえらるなんてさ

二人、体育館の空中を眺める。

無数の声、音楽、ボールの音、笛の音、足音、熱狂、歌声などが、駆け抜けていく。

#26

校内。奔放と敬虔。

敬虔 奔放？

奔放 ……

間。

敬度 (通り過ぎる) じゃあ

奔放 うん

敬度、歩きすぎようとする。

奔放 留年しちゃった

敬度、足を止める。

奔放 本当馬鹿だよ

敬度 卒論 間に合わなかったの？

奔放 他の科目がダメだった。どうしよう、わたし謝恩会幹事なのに

敬度 ご両親には言った？

奔放 怒られた(笑)

敬度 ノート、貸すよ。日文の授業もとってたから。平家物語と更級日記。文学史概

論も

奔放 ……死んじゃえ

息吹、二人の近くに現れる。

敬度 ……

奔放 どうしてそういうことをするの

敬度 奔放

奔放 どうしてそっとしておいてくれないの

敬度 だって――

奔放 わたしの場所。残しておいて。残しておいてよ。これじゃあどこいっても呼吸

ができない

敬度 奔放。それじゃわからない

奔放 わかるな!

息吹 奔放

息吹、奔放を抱え込む。

敬度 息吹……

息吹 なにやってんの。本当になにやってんの。もう学校に人少ないからって、こん

な道端でさ。(敬度に) 哲学に会ったよ。(奔放に) ……敬度は悪くない

敬度 え

奔放 わかっている。いつだって、敬度は悪くない

息吹 奔放も悪くない

奔放 自分が嫌い

息吹 悪くない

奔放 ちっちゃいころとおんなじ。敬度が学級委員になった。わたしは立候補したの

に選ばれなかった。あのころからずっと同じ

息吹 奔放に手を挙げた子もいたよ

奔放 そんな子たちクズだよ。敬度じゃない。どう考えたって、頭よくて、先生たち

に頼られて、いつも100点取ってるくせに、クラス対抗ソフトボール大会で

決勝で負けて本気で泣きだす敬度じゃない

息吹 もう、いつの話よ

敬度 わたしのこと、嫌いだった

奔放 ……

敬度 知らなかった

奔放 あんた、周りを見てないもの

息吹 奔放

奔放 敬度には見えないもの。わたしたちなんか、すぐ見えなくなるもの。振り向かないもの。だから、見えないの

敬虔 ……

息吹 わたしは、あの日、小学生だったあのとき、二人ともに手を挙げた

二人、息吹に注目する。

息吹

バカで学級委員が一人だったことがわからないような顔をして手を挙げた。わたしはうそをつきだした。でもわたし、嘘をつくタイミングは間違えてない、ねえ、そうじゃない？

奔放 (敬虔に) 大きらい

敬虔、無言で立ち去る。

奔放はますます息吹にしがみつく。

奔放

(客席に) あの日、あの子が好きだと言ったのが息吹でよかった

息吹 敬虔、行っちゃった

奔放 もしも敬虔だったら、実際頭をよぎったんです。敬虔は美人だから。そうしたらわたしは、あの日家に帰れなかった

息吹 奔放、敬虔行っちゃったよ

奔放 息吹でよかった

息吹 なんであんなこと言うの。振り向かないよ

奔放 よかった……

#27

敬虔。

敬虔 わたしの友だち

#28

哲学。平穩。○○。哲学を祝っている。

哲学 ありがとう

平穩 美しいね

○○ 卒論よりよっぽどよかったものね

哲学 資料集めてくれたから。あなたも、昔のこと調べてくれて

平穩 論文にしたいって言い出したのはあんただろ

哲学 それが一番できそうだったから

平穩 それで研究奨励賞なんてね。これが運動だったことわからないだね、学校側は

○○ 平穩

平穩 朝ごはんをハンバーガーとコーラにしてまで、よくやったよ

哲学 もともとそれが好きなんだけど

平穩 どのくらいの人の目に触れるのかね。こういうの触れ回るのには奔放が得意なんだけど

○○ どうして奔放に話さなかったの

哲学 だって……

平穩 ん？

哲学 ……悔しかった

平穩 (笑い出す) かわいそうに

哲学 ごめんなさい

○○ 呼べたら連れてくるよ

○○、出て行く。

平穩 かるく酔っ払っている。

平穩 いい時代だ

哲学 みんなの前で発表なんて、できるかなあ、わたし

平穩 できるよ。哲学。とっておきの哲学。勉強はしっかりしているやつはやっぱり違

うね

哲学 あなたが馬鹿にしたよ。生まれる時代を間違えたつて

平穩 こんないい時代に産まれてきて、間違ってるわけじゃないか

哲学 そうじゃなくて

平穩 哲学

平穩、哲学を抱きしめる。

平穩 わたしたちがいたから、あなたが生まれた。そう信じてもいい？

哲学 どういうこと？

平穩 あんたが生まれた。あんたたちが生まれた。いい？

哲学 ちゃんと説明して。わかんないよ

平穩 信じて、いいかなあ……

哲学 (哲学、考えるがすぐ考えることを放棄して) よくわかんないけど、いいよ

平穩 ありがと。嫌だね、年をとると、涙もろくなつて

哲学 同い年でしょう、もう

平穩 一発かましてやりな、哲学。いい時代だよ。こんな風に人を変えていけるのは、いい時代だ

#29

癩癩 新聞であの建物を見ました。学生が論文を書いて、それが彼女の担当教授の目

に触れて、あの建物の中でシンポジウムが開かれるということでした。旧体育

館の解体を考え直すシンポジウム。

奔放 学校の外にも運動はありました。運動だと言われて、締め出されていた運動が。

鮎玉 わたしは知りませんでした。外の運動のことも、その論文がこれから先生や学

生たちに広まっていくことも。

平穩 奨励賞を受けた哲学の研究は、次の入学式の日、新入生の前で発表されました。

哲学 一生に一度だと思つ。こんな大舞台

息吹 解体されゆくアントニン・レーモンド建築 旧体育館の話

敬虔 先生方も新入生も、夢にも思わなかつたでしょう。わたしたちは誇りを持って

いい。そんなこと知らなかつたでしょう。あの場所には精神と、歴史があつた。

わたしはそれを裏切っていました。

沈黙 インターネットでこっそり署名しました。効果は少ししかないかもしれないけど。

○○ その論文は歌声のように、校内に伝わっていきました。

平穩 歌声

○○ なにか？

平穩 そうじゃないか。歌声

○○ ……

平穩 彼女の名前だよ。わたしたちの001番

○○ もう忘れな。平穩。あんただって卒業したんでしょ

#30

未来の話

鮎玉 いま猛勉強しています。大学で習ったことは正直役に立っていません。みんなとは、メーリングリストで連絡を取っています。実家に帰っちゃった子が結構いて、寂しいです。まあどつちみちわたし勉強するんで、会えないですけど。実家にはずっと帰ってないです。スッチャーになったら、ジャスコ借り切って宴会してやろうかな。日本じゃなくて、海外のエアラインに就職って手もありますよね。猛勉強してやります。

平穩 わたしはついに大学を出ます。親類のついで、小さな不動産屋で働き始めます。意外と忙しくて、体重が3キロ減りました。最近結婚の話が出てますが正直迷っています。毎日土地の資料を見ます。建物はあつというまに取り壊されます。そして思い出すことが難しくなります。大学のころの記憶が風化していきます。

沈黙 卒業してすぐ、インドへ行きました。いまは42歳です。アラスカにいます。インドでブログにこるようになって、そしたら鮎玉が編集さんを紹介してくれて、現在わたしの肩書きは「旅行エッセイスト」です。うさんくさいですよ。そう思います。あ、旦那がフランス人です。日本語だと相変わらずこんなんです。が、わたし、フランス語たとおしゃべりです。わたしが沈黙だったことを、彼は信じてくれません。何度話しても、信じてくれません。

癩癩 28歳で素晴らしい男と出会います。わたしはその人が欲しくて欲しくて、刃物で彼をメッタ刺しにします。それから救急車を呼んで、留置所に入って、そのあと彼と結婚します。子どもは3人。みんな腕白です。仕事は自営業です。彼の店を軌道に乗せてます。いまでも時々、気が高ぶると彼を刺します。

哲學 わたしはいま99歳です。未来の暮らしに興味があるでしょうか。ついにこのあいだ、南極大陸が溶け去りました。わたしは主人と空を眺めます。主人も9

9歳です。春の北斗七星、夏の大三角形、秋のカシオペア、冬のオリオン、かつて都会でかろうじて見えていた星々もじよじよに光が届かなくなりました。それでもわたしたちは空を見上げます。いまは月だけがわたしたちを見ています。

奔放 わたしは、結局平凡なんだと思います。30歳です。悲しいことがあつて、大学のときのみんなとは集まらなくなりました。半年遅れて卒業して、就職して、配属がコールセンターでそこで身体を悪くして、ちよつと落ち着いたところに転職して。本当に平凡なんだと思います。カルチャーセンターにはまっています。パン作りとか、英会話とか、ストーンクラフトとか。毎日楽しいとは言えませんが、こつこつのはとても楽しいです。楽しくて悪いかつて叫びたいです。ストーンクラフトのジョーンズ先生がかつこいいんです。

敬虔 35歳になりました。わたしは主婦です。子どもはまだ小さく、夫はまあ優しいです。妊娠して、会社をやめて、子どもを産んで、今はこどもに振り回されています。半年に一回、大学のときの仲間と会います。みんなあまり変わつてなくて、そのせいか今のことより学生時代のことばかりを話してしまいます。最近、こどもが小学校が上がつたら職場に復帰したらどうかと言われて、それを前向きに考えています。幸せなんだと思います。でもこれは全部嘘で、いまわたしはたくさんのお話と、たくさんのお話を聞かれて、みんなから遠い場所にあります。

息吹 大学を卒業して、わたしは実家に帰ります。実家のある町の商店街は最近シャッターが増えてきました。映画館がなくなりました。本屋さんがなくなりました。そのうちジャスコができるのかもしれない。わたしは市役所で勤めます。税務課の窓口で、中高生のころには見えなかった、この町の人々と触れ合っています。昼休みにはついついパソコンで旧体がどうなつてるか調べてしまいます。一時期解体に反対してくれた先生方は、大半がもう意見を変えてしまったようです。23歳でわたしは死にます。雪道をスリッパした車に衝突して。交

通事故でした。

〇〇 わたしは覚えていません。この場所であったこと、この場所にいた人たち、みんなが見てくれた瞬間。わたしは忘れることができません。だけどわたしは忘れられます。積み重なる記憶の中で、失われてしまいます。わたしがどんなに覚えていても、みんなはわたしを忘れます。

息吹 でもそれは全部可能性の話。これから起こる可能性の話で、未来なんてわたしたちにはさっぱりわからないのです。

#31

息吹と奔放。

息吹 読んだの？

奔放 悔しかったけど

息吹 読んだんだ

奔放 うん

息吹 わたし、奔放のそういうところが好きだよ

奔放 どういうとこだよ

息吹 たとえばね、ショーウィンドウのなかのマネキンの着てる服がすごく素敵で、すっごくほしい。でもそれは非売品だったり、高かったり、まごついてるうちに他の誰かに買われちゃったり

奔放 うん

息吹 そういうとき、普通の人にはあきらめるんだよ

奔放 うん

息吹 あきらめないで、その服がほしいほしいって言い続けるのはさ

奔放 子供だよ

息吹 きつとすごく好きなんだよ

奔放 え

息吹 その服が好きで好きで諦めきれないんだよ。わたしはそう思った

奔放 そんな、純粹なものじゃないよ

息吹 いいと思う

奔放 意地とか、あとに引けなくなっちゃったとか、そういうのもあるし

息吹 絶対いいよ

奔放 ……

息吹 わたしだって羨ましかったもん

奔放 え？

息吹 敬虔が。あと哲学も

奔放 息吹が？

息吹 だからね、仕事をしてやるの、わたし。あの二人に負けない、いい仕事をするの。市役所だけだね。世のため人のために働くの。実際どうだかわかんないけど。つらいかもしれないけど。とにかく、あいつらに負けたくない

奔放 ……息吹にも置いていかれそう

息吹 そりゃあそうだよ。半年先に社会に出るんだから。奔放なんて、ばんばん置いてく

奔放 就活しなきゃ

息吹 うん

奔放 仕事をしなきゃね

息吹 うん

奔放 でもわたし、できたらもつとスペシャルな人間になりたかった

息吹 知ってる

奔放 うん

息吹 才能なんて、いつ開いて閉じるかわかったもんじゃないよ

奔放 うん。…息吹、卒業のお祝いに、馳走してあげるよ、朝ごはん。はちみつバタートーストとコーヒ

息吹 ふとる

息吹 ふとる

奔放 でもこれ、好きなんだもん

奔放、去る。

○○、現れている。

息吹 (同時に) 永遠

○○ (同時に) 息吹

息吹 (同時に) あなたは、永遠

○○ (同時に) あなたは、息吹

息吹 わかるよ。いつだってそこにいる

○○ わたしはかつて、あなただった

息吹 春のにおいがする

○○ ここはいつか消える

息吹 芝生とお日さまのにおい。青くさい

○○ 人も、場所も、いつかは死に絶える

息吹 これから、どうなるんだろう

○○ わたしは忘れない

息吹 わたし、どうなっちゃうんだろう

○○ 人も、場所も、そこにあった気持ちの二つ一つも

息吹 楽しみな。全然ダメかもしれないけど。この世界を、生きるの！

○○ どんな時代でもあなたは変わらないね。息吹。わたし。わたしの友だち

#32

鐘の音。哲学、語りだす。

哲学 卒業して二年後に、旧体育館は解体されました。

哲学 外の運動も、中の運動もむなしく、解体されていきました。

哲学 どうしてって、思います。もっと、一緒に話をしてほしかった。でもいまは、ただなくなったことが悲しいのです。

哲学 旧体育館のあった場所は、お墓になりました。芝生が植えられて、こんもりと土が盛り上がっていて、そこはだれが広場と呼んでも、わたしにとってはお墓でした。

#33

哲学、旧体育館跡地に立っている。

哲学 この場所に柱があった

敬虔が現れる。

敬虔 柱があった。覚えている

哲学 二階には暖炉があった

癩癩が現れる。

癩癩 それはしらない

息吹が現れる。(ここから先、名前が出ることにみな登場する)

息吹 やわらかい光が入ってきた

敬虔 あたたかい光

哲学 きめ細かな、生成りみたいな

癩癩 まあ全部イメージなんだけど

息吹 光が降ってきた

奔放 光にあたってた

〇〇 むかし、ここで歌った

平穩 修善寺物語をやった

息吹 エアロビをした

飴玉 体操をした

敬虔 聖書を読んだ

奔放 運動をした

癩癩 寝てた

沈黙 よく覚えてない

哲学 研究をした

息吹 友だちができた

〇〇 光があたってた

沈黙 そこにみんないた

敬虔 わたしたち、学生の女の子たち

飴玉 女の子なんて、もういい年なんだけど

平穩 しっかりちゃんと女なんだけど

〇〇 でも子供みたいな顔をして

息吹 わたしたちがいた

奔放 身体を動かしていた

飴玉 おしゃべりしてた

沈黙 なやんでた

癩癩 にくんでた

哲学 ねたんでた

敬虔 悲しかった

奔放 孤独だった

平穩 ような気がしていた

〇〇 ふしあわせだった

飴玉 わたしたち

息吹 時間が通り過ぎていきます。わたしの身体の中を過ぎていきます。わたしはそれを捕まえることができません。わたしの目の前で、時間は過去へと変わります

〇〇 この時間もまもなく終わります。皆様方には感謝の言葉しかありません。時間はあとからあとから生まれ出てきますが、願わくば、あとすこし、もう少しだけ、心をここに留めて。どうか、どうぞ、わたしたちと、共に

〇〇 この場所

息吹 息吹

敬虔 敬虔

奔放 奔放

哲学 哲学

癩癩 癩癩

沈黙 沈黙

平穩 平穩

飴玉 飴玉

〇〇 この場所

哲学 勉強をしていた
沈黙 わたしたち
平穩 わたしたち
鮎玉 わたしたち
息吹 わたしたち
〇〇 息吹
息吹 敬虔
敬虔 奔放
奔放 哲学
哲学 癩癩
癩癩 沈黙
沈黙 平穩
平穩 鮎玉
鮎玉 永遠
〇〇 (鮎玉と同時に) 息吹
息吹 敬虔
敬虔 奔放
奔放 哲学
哲学 癩癩
癩癩 沈黙
沈黙 平穩
平穩 鮎玉
鮎玉 永遠
〇〇 (鮎玉と同時に) 息吹
息吹 敬虔
敬虔 奔放
奔放 哲学
哲学 癩癩
癩癩 沈黙

沈黙 平穩
平穩 鮎玉
鮎玉 永遠

学生たち、微笑みながら立って、正面を見つめている。

△↓

Copyright © 2014 オノマリン, All rights reserved.